

Kanazawa
College of Art

2020

金沢美術工芸大学



大学憲章

金沢美術工芸大学は、1946年、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立された。

以来、本学は豊かな自然環境と歴史的遺産のなかで、美術・工芸・デザインの分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担ってきた。

素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彌琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、本学は知と創造の拠点となることを目指す。

沿革

- 1946 本多町3番丁(現出羽町)に金沢美術工芸専門学校(本科3年、予科1年制、美術科45人、陶磁科30人、漆工科30人、金工科15人、計120人)を設立
- 1950 金沢美術工芸短期大学(3年制、美術科45人、工芸科75人、計120人)を設立
- 1955 金沢美術工芸大学(4年制、美術学科[絵画専攻・彫刻専攻]40人、産業美術学科[商業美術・工業意匠]60人、計100人)を設立
- 1965 美術科定員を1学年40人から55人に増員、商業美術、工業意匠を商業デザイン専攻、工業デザイン専攻に変更
産業美術学科に工芸・繊維デザイン専攻(15人)を設置
- 1966 教職課程(正規・聴講)を設置
図書館及び実験研究棟が完成
- 1970 伝統工芸聽講生制度を設置(～2011)
- 1971 博物館学課程を設置
- 1972 美術工芸研究所を設置
小立野5丁目11番1号に新校舎が完成
(敷地面積57,242.88m²、建物面積15,026.93m²)
- 1973 研究生制度(学部)を設置
市民講座を開設(～2006)
- 1974 工芸・繊維デザインを工芸デザイン専攻に変更
- 1977 市民工房を開設(～2004)
- 1979 大学院修士課程(絵画・彫刻専攻、産業デザイン専攻)を設置
- 1980 大学院棟が完成
(鉄筋コンクリート造3階建、建物面積3,366.85m²)
夜間教養講座を開設(～1991)
- 1985 石彫棟を新築
- 1986 美術学科に芸術学専攻(10人)を設置
美術工芸研究所棟(4階建、建物面積3,364.7m²)、
美大ホール(500席、建物面積1,331.01m²)が完成
- 1990 大学院修士課程(芸術学専攻)を設置
- 1991 大学院(修士課程)工芸デザイン専攻定員を
1学年15人から20人に増員
- 1992 工芸実習棟(3階建、建物面積3,610.19m²)が完成
- 1993 共通造形センターが発足(～2010)
- 1996 学科再編により美術科(日本画専攻・油画専攻・彫刻専攻・芸術学専攻)65人、デザイン科(視覚デザイン専攻・製品デザイン専攻・環境デザイン専攻)60人、工芸科20人が発足
- 1997 大学院博士後期課程を設置
- 1998 國際的藝術家滞在制度を発足(～2006)
芸術学専攻、デザイン科3専攻が推薦入学を実施
- 2000 大学院修士課程再編により(絵画・彫刻・芸術学・工芸・デザイン専攻)の5専攻が発足
図書館棟増改築工事(増築部3階建、建物面積2,224.83m²)が完成
- 2001 運営諮問会議を設置(～2010)
- 2005 大学院修士課程(デザイン専攻)にファッショングデザインコースを設置
美術工芸研究所に産学連携センターを設置
- 2006 美術工芸研究所を再編し、教育研究センター、地域連携センター、
産学連携センター、国際交流センターの4センターが発足
- 2007 美術工芸研究所を造形芸術総合研究所に改称
芸術学専攻定員を1学年10人から15人に増員
- 2008 財團法人大学基準協会の大学基準適合認定
- 2010 アートギャラリー開設(～2014)
公立大学法人金沢美術工芸大学に移行
造形芸術総合研究所を美術工芸研究所に改称
- 2011 間屋まちスタジオを開設
アートベース石引を開設
- 2014 柳宗理記念デザイン研究所を開設
- 2016 社会連携組織を再編し、社会連携センターに地域連携部門、
産学連携部門、知財管理部門を設置
アジア美術戦略会議、キャリア支援室が発足
- 2017 美術工芸研究所ギャラリーを開設
研究生制度(学部)を廃止
- 2018 大学院美術工芸研究科に研究生制度を設置

活動指針

創作の意欲と能力を育てる教育の推進

Creative Potential

地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエーターの育成を目指す。

質の高い研究とオリジナリティの追求

Professional Individuality

深く芸術の神髄を探求し、諸分野における卓越した知識と技術の継承によって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化の発信母体となる。

地域と世界に貢献する芸術活動の展開

Public Contribution

市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核を担い、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共生に貢献する。

自立した大学の運営と公共性を重んじる組織の発展

Institution Independence

社会の変化に迅速かつ的確に対応できる教育体制と事務組織を構築し、自己決定、自己責任に基づく自主自立の大学運営を目指す。





このまちで学ぶこと。 手で考え、心でつくること。

04
学問を好み、伝統を愛して
その歴史を紡いできたまち、金沢。
工芸が今も生活のなかに息づくこの地は、
ものづくりのまちでもあります。

金沢美術工芸大学は、
戦後の困難な時代のなか、
人のつくる力を信じる金沢の市民が、
その心でつくった大学です。

この大学には、
「手で考え、心でつくる」ということばがあります。
ここで教鞭をとったある教員が残したこのことばは、
ものをつくることが
「つくりながら、試み、考える」ことであること、
「心をこめて」行うことであることを教えてくれます。

この大学で、たくさんの先輩たちが
「つくりながら、試み、考える」ことを繰り返し、
「心をこめて」作品をつくりあげ、
世界へ飛び立っていきました。

「手で考え、心でつくる」。
今日も金沢美術工芸大学では、
のことばのもとで、
学生たちが学び、鍛錬を重ねています。

05
ものをつくること、そして
ものをつくることについて真剣に考えること。
それを志すあなたの豊かな力になる時間が、ここにある。
私たちは、そう信じています。

ご挨拶



金沢美術工芸大学 学長 山崎 剛
President Yamazaki Tsuyoshi

私たちのキャンパスには正門というものはありません。本館の正面に向かって校地を眺めると、入り口としての門も、内と外を隔てるフェンスも無いことに気づくでしょう。けやきの木々に彩られた校庭を、ときおり近所の保育園の園児たちが乗り合いカートで散策しています。校舎に入ると廊下の壁にピクチャーレールがあり、まるで部屋のように広い廊下が展示室の役割を果たしていることに気づくでしょう。ここで学生が作品を展示し、教員による講評が行われ、また廊下という空間ゆえに人が通り、不特定多数の他者が作品を目にします。

私たちのキャンパスは開かれています。その一方で、学生たちの日々の学びは、良い意味で、正しく閉じられた環境の中で行われています。素材を知り、技を磨くためには、自己を見つめ自己と向き合うことが大切だからです。学びは、習うこと或いは做うことに始まり、私たちはそれを勉めて強いるでしょう。絵画には絵画の、彫刻には彫刻の、工芸には工芸の、デザインにはデザインの、芸術学には芸術学の、学ぶべき基礎が何よりも大切だからです。大学での学びは、社会的な有用性といったものから一定の距離を保ち、基礎力を磨く貴重な時間です。

私たちが考える芸術創造の自由、一人ひとりの世界観の構築はその先にひろがっています。だから大学憲章に、「素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成する」と謳うのです。そして目まぐるしく変化する社会において、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動すること、更には自らの世界観に基づき継続すること、その芸術に生きる力を育みたいと、私たちは心より願っています。

ともに学びましょう。けやきの木々に彩られたキャンパスで。

目次

06 大学憲章 02

活動指針 03

学長挨拶 06

日本画 10

油画 16

彫刻 22

芸術学 28

視覚デザイン 34

製品デザイン 40

環境デザイン 46

工芸 52

一般教育等・基礎科目 58

修士課程 66

ファッショントレーニングコース 70

博士後期課程 76

関連施設 82

社会連携センター 84

附属図書館 85

国際交流 86

キャンパス移転について 88

学生生活・大学の組織 90

入学試験結果・学費 92

教員一覧 94

活躍する卒業生 96

アクセス 98

美术工芸学部

美术科

日本画専攻
油画専攻
彫刻専攻
芸術学専攻

デザイン科

視覚デザイン専攻
製品デザイン専攻
環境デザイン専攻

工芸科





日本画

進化し続ける日本画の世界。

古典を学び、現代における表現を探る。

日本画の表現は、

その長い歴史のなかで

大きく発展してきました。

基礎を丁寧に積み重ね

伝統技術を確実に習得しながら、

自らの表現を切り拓く道筋を探ります。

100年後に残る絵画を目指して

美しい岩絵の具、本質をとらえた表現…この国に伝わる日本画と呼ばれる独自の絵画表現は時代とともに幅を広げつつ進化を遂げてきました。しかしこの表現方法の習得には古来よりさまざまな「画派」の存在が示すように、やる気や根気とともに段階を踏まえた教育が必要でした。本学の日本画では緻密に計算されたカリキュラムで日本画技術の基礎から伝統的表現を経て未来に羽ばたく日本画表現を目指す人材をアシストします。

1年次

精密描写

野菜／草花／岩石／鳥／魚(鯉)／小動物／自画像

古典絵画模写

白描／着彩／臨模

その他実習

デザイン／彫刻I／工芸技法(紙)／グループワーク
郊外写生授業(～4年)



古典

古典の名作を、その紙や絵具・筆使いの表情までを正確に写し取ることで古典絵画の技術を学びます。



その他の特色

学内展示

各学年で随時、課題作品の発表の場として学内での展示があります。そこで展示方法や見せ方も学びます。



学内展示の様子

グループワーク

グループワークの授業では、日本の美術概念を包括的に捉え、メディアを変えても揺らがない創造性について考える機会として、インスタレーションや映像などを取り入れた表現をグループで制作します。



グループワーク

2年次

古典基礎技術

絹本／運筆

その他実習

工芸／彫刻II／書のてんこく

基礎表現技術

支持体制作／箔技法／裸婦デッサン(～4年)

課題制作

植物／人物／動物／風景

伝統的基礎技術

金銀の金属箔や絹など古くから伝わる素材とその使い方や表現を学び、自身の作品に活かしてゆきます。



基礎表現技術

日本画制作の基本的な制作手順や裏打ち・水張りなど基本的技術を学び、ここまで学んだ様々な技法を用いて個々の想いを表現してゆきます。また課題制作として伝統的なテーマをどう自身の表現に反映させるかを学びます。



3年次・4年次

自由課題制作

その他実習

コンピュータグラフィックス

発表制作

公募展、グループ展、個展等出品制作／各種発表／研修旅行(3年もしくは4年)／裸婦デッサン

卒業制作

自由課題制作

自由制作に移り、作品はかなり大型のものも手がける様になります。伝統に基づいたもののみならず、現代に生きる感覚による作品制作も手がけます。技術的にも高度な表現に移ってゆきます。

卒業制作

4年間の集大成として、これまでの日本画制作で培った考えや技術で自身の世界観を表現します。

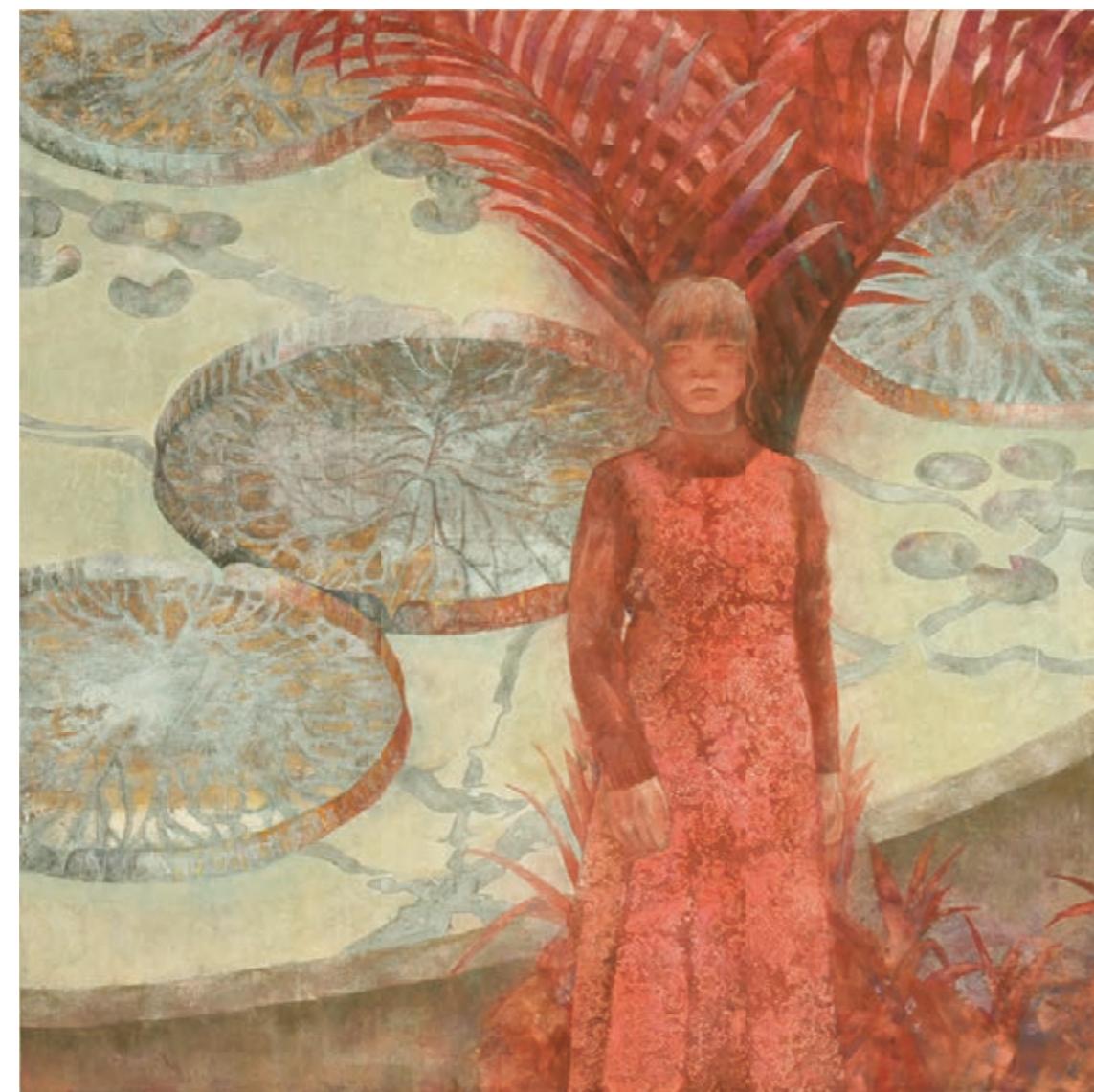
各種発表

学内展示をはじめ、様々な場での発表を前提にした制作をすすめ、各種公募展などでの入選・受賞をはじめ個展やグループ展などの自発的な場での発表を通して研鑽を積んでゆきます。

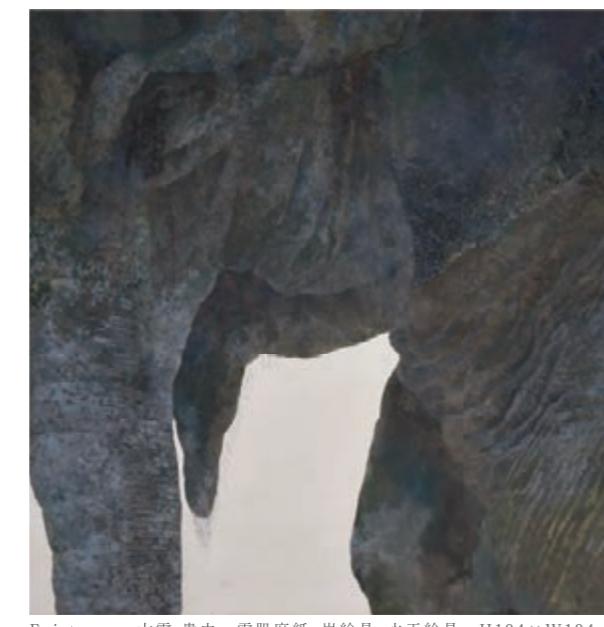


卒業後の進路・活躍

日本画家(日展・院展・創画会等各公募系列他)、大学教員(京都市立芸術大学、佐賀大学、名古屋芸術大学、東北芸術工科大学、京都精華大学、宝塚大学、大阪成蹊大学、堺城大学、金沢学院大学、金城大学短期大学部他) 全国 小中高教員 学芸員(石川県立美術館、福井県立美術館、名古屋市美術館、MOA美術館、石川県立歴史博物館) 文化財保護修復関係機関各種 公立工芸研究機関(九谷焼技術、輪島漆芸他) 造形作家 工芸作家(陶芸、染色、漆芸)、漫画家、イラストレーター、各種デザイナー、映像関係、繊維関係、印刷関係、報道関係、会社経営、流通、販売系
【受賞・発表】 日展(会員賞、特選)、日春展(日春賞、奨励賞)、全関西美術展(全関展賞他)、臥龍桜日本画大賞展(大賞他)、青垣日本画大賞展(大賞他)、現代美術展(美術文化大賞他)、文化庁在外派遣研修員、新風舎えほんコンテスト(優秀賞)、アフタヌーン四季賞(漫画)、院展(奨励賞)、春の院展(奨励賞)、東山魁夷記念日本画大賞展(大賞他)、上野の森美術館大賞展(特別優秀賞)、三溪展(優秀賞)、京展(京都市長賞他)、菅原彦大賞展(大賞、準大賞)、碧い石見の芸術祭全国美術大学授業日本画展(準大賞)



朱の庭で 澤村 真穂 和紙、岩絵具、銀箔 H194×W194 cm

褪せぬ陽 坪川 華乃
和紙、岩絵具、水干絵具、パステル H130.3×W194 cm

Existence 大霜 貴由 雲肌麻紙、岩絵具、水干絵具 H194×W194 cm



はこ 中田 日菜子 絹、天然岩絵具、墨、染料、金箔 H112.3×W207.5 cm

昏れる 南野 和
和紙、岩絵具、水干絵具、金箔、墨 H194×W130.3 cm

追想 藤井 星夏 和紙、岩絵具 H162×W194cm



LIBERATY HILL 03E号 野中 一陽 和紙、岩絵具、アクリル、パステル H197×W234cm



さあ、次はどこへ行こうか 小佐川 麗 和紙、岩絵具 H162×W194cm



油 画

基礎から応用までつながる学びで
世界へ羽ばたく力を持つ。

油彩、アクリル、版表現といった絵画表現。

アニメーション、ビデオといった映像表現。

立体、インсталレーションといったミクストメディア。

造形芸術の基本をベースにしながら
それぞれの表現に特化した研究室で
一対一の指導を行います。

基礎力を備えた新時代の芸術活動を担う人材の育成

造形美術における基本的理念を理解するとともに、高度な油彩画技法を指導し、各自の個性と感性を伸展させます。新時代の芸術分野での活動を可能にさせる美術教育を目指して、将来の作家にふさわしい人材の育成に努めます。

実習を支える設備



石膏デッサン室



絵画技法材料研究室



映像制作室



素材室(立体造形)

1年次

1年次はデッサン力を養い、油彩画の基本技術を習得すると共に、他分野の実習を通じて広く美術を学びます。

デッサン・油彩

基礎的な道具や用語の使い方を石膏像や静物、裸婦を描く課題を通じて実践的に学びます。



静物油彩

階層構造に基づく油彩技法や用具を基礎的に学びます。



裸婦デッサン

様々なポーズの裸婦を観察し、その形体を描出します。



グリザイユ技法

グレーの無彩色のみで描く油彩画古典技法を学びます。



映像メディア演習

映像撮影、編集等の実践的練習を行います。



コスチューム油彩

衣装制作、着用による表現実験を行います。



2年次

2年次は油彩画を専門的に理解すると共に、構図法や油彩画制作、近代表現研究などの授業で自己の表現を制作に反映する視点を学びます。

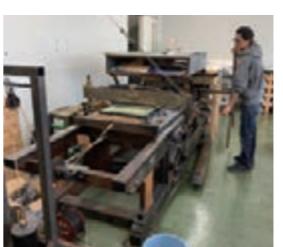
インスタレーション

教室外を含む開かれた空間の中で表現することを通じて、事物と空間の多様な関わりを学びます。



人体油彩

解剖学や構図法を学び、構造的に人体を描出します。



版画・フレスコ画

西洋絵画の様々な技法を学び表現の可能性を広げます。



カマイユ技法

褐色単色で描く古典技法を学び専門性を高めます。



アニメーション

手描きアニメーションの制作実習を行います。



ミクストメディア

複数の表現手法を組み合わせて表現する実習を行います。



3年次

3年次は制作のテーマや技術的な課題を明らかにするための表現技法研究と進級制作課題によって、表現の具体化について学びます。

表現技法研究

絵画、映像、立体・インスタレーション等の幅広い手段による表現を試行し、作品制作に繋げます。



進級制作

個々の表現を具体化させ作品を完成させます。学内のギャラリーにてグループ展示を行います。

絵画表現(油彩、アクリル、版表現)

写実的な描写から抽象的な表現の探求まで、制作のテーマは多岐に渡ります。

4年次

4年次は学内外の専門的な視点による技術指導や作品講評を得ながら、卒業制作の完成に向けて高い表現力を身につけます。

前期制作

卒業制作を前に最適な作品サイズや制作期間を検討することで技術的な課題を発見し解決します。



卒業制作

集大成として完成した作品を金沢21世紀美術館に展示します。



ミクストメディア・空間表現

平面からインスタレーションを含む空間表現まで、様々な素材や技法を用いて取り組みます。

2022年度より絵画表現、映像表現、ミクストメディア・空間表現をコース化します。

卒業後の進路・活躍

画家、版画家、美術作家、絵本作家、漫画家、美術予備校講師、中学・高校・大学教員、茨城大学、金沢学院大学、金城大学短期大学部、群馬大学、日本大学芸術学部、福井大学、宮崎大学、広島市立大学、金沢能楽美術館、㈱赤坂ユニベイス、㈱アサヒサイクル、㈱イマジカデジタルスケープ、㈱エクシード、㈱エボック、㈱カラーマーク、㈱ケイ・ウノ、コーネーテクモホールディングス㈱、劇団四季〔四季㈱〕、㈱グランゼーラ、㈱佐藤塗装、㈱DMM.comラボ、フォトコザカ、㈱フェイスコープレイション、フィルムデザインワークス、㈱本田技術研究所、任天堂㈱、㈱モノリスソフト、㈱横田タオル、㈱uk、㈱スタジオコロリド、㈱ひまわりホーム、ユーフォーテーブル、クリエイティブハウスポケット、㈱カインズ、㈱チップチェーン、㈱ヨシダ宣伝【他大学進学先】東京藝術大学大学院、京都市立芸術大学大学院、武蔵野美術大学大学院、ナンシー国立高等美術学校、パリ国立高等美術学校【受賞・発表】神通川美術展(大賞・優秀賞)、VOCA展、岡本太郎現代芸術賞、アートアワードネクスト、シェル美術展、国画展(国画賞・新人賞、奨励賞)、光風会展(光風奨励賞)、二科展(特選)、清須市ハルヒ絵画トリエンナーレアーティストシリーズvol.89堀至以、FACE2018損保ジャパン日本興亜美術賞展入選

様々な授業形態



郊外写生授業



パリ研修



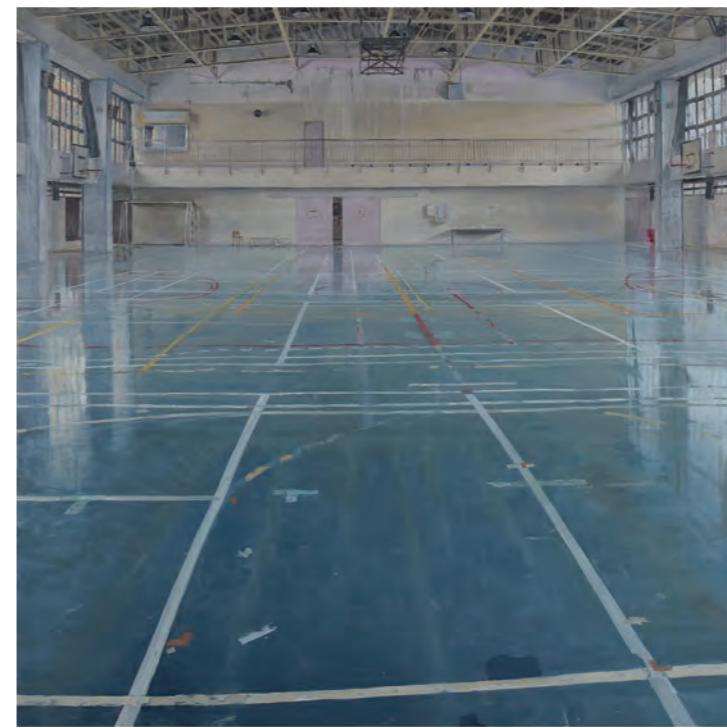
フレスコ画



学内展示



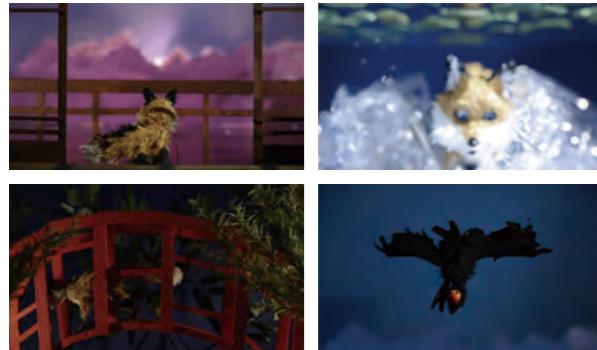
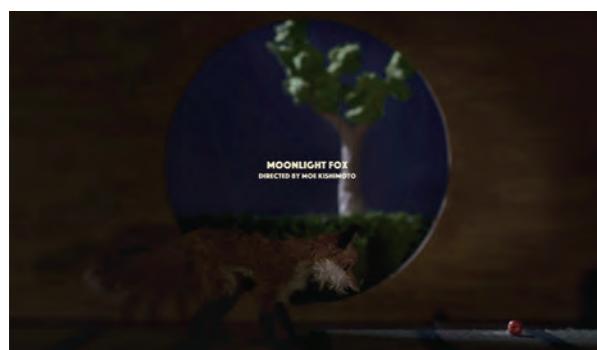
久遠の縁 伊藤 真里奈 パネル、麻布、白垂地、油彩 H316×W236 cm



gymnasium 桜井 旭 キャンバス、油彩 H194×W194 cm



巡 立山 華保 ミクストメディア、漆喰、ミクロウ、顔料 H360×W200 cm



MOONLIGHT FOX 岸本 萌 ストップモーションアニメーション 9分



永遠と続いた時間あれがそう君だけがまだ眠る朝焼け 木須 菜々美
パネル、和紙、水彩、色鉛筆、アクリル H172×W227.3 cm



まばたき 山本 いちご 木造空間、古家具、陶器など
H240×W204×D204 cm



箱庭 野村 明日香 キャンバス、油彩 H162×W194 cm



彫刻

「自然」と「素材」と「自分」。
新しい表現はいつもそのなかから見つかる。

無限に広がりを見せる
今日の彫刻表現。
たっぷりと時間をかけ
「自然」「素材」「自分」と向き合い
制作に取り組むことで
その可能性を掘り下げ、見つけます。
明日の彫刻を切り拓くために。

「自然」を見つめ「素材」と語り「私のかたち」を求めて

現代では「彫刻」は限りない表現世界としてその領域を広げ、意味の解釈も表現の方法も多岐にわたっています。「彫刻専攻」では、自然観察を通じて形態の原理を学び追求すること、そして素材に身をもって触れ合うことでその可能性を最大限に引き出すことを彫刻表現の原点とし、発展させていきます。自然を見つめ、素材と語り、時代を超えていく「私のかたち」と一緒に探してみましょう。

1年次

1年次から2年次前期までは基本的な彫刻素材を通して実習により、造形表現の基礎と各種の技法を体得します。

彫刻(一) I

自然観察

彫刻(一) II

複合表現実習／木彫実習／塑造実習

基礎科目

デザイン演習／映像メディア演習／絵画演習／美術解剖学・日本美術史Ⅰ・Ⅱ／東洋美術史Ⅰ・Ⅱ／西洋美術史Ⅰ



自然観察



複合表現実習



複合表現実習



木彫実習



塑造実習



卒業後の進路・活躍

彫刻家、造形作家、小学・中学・高校・大学教員、青山学院大学、金沢星稜大学、京都教育大学、東海大学、秋田公立美術大学、大阪成蹊短期大学、明星大学、愛知県立旭丘高校美術科、金沢市民芸術村、石川県立美術館、碌山美術館、金沢21世紀美術館、金沢森林組合、四季㈱、㈲共同通信社、㈱金沢舞台、劇団俳優座舞台美術、上越クリスタルガラス㈱、スズキ㈱、㈱本田技術研究所、井波彫刻、野村、㈱ウイン・ディー、㈱俄、㈱日産自動車、㈱セガ、㈱東京スクエア、㈱コトブキワークス、㈱瑠璃光、㈱桑山、㈱北陸園芸、㈱道具、㈱イズム、㈱カブコン、㈱ピア21、㈱ダヴィンチ、㈱杉田石材、横浜美術大学、北海道教育大学、京都市立銅駒美術工芸高等学校【他大学等進学先】愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、京都市立芸術大学、多治見市陶磁器意匠研究所、多摩美術大学、筑波大学、東京藝術大学、富山ガラス造形研究所、広島市立大学【受賞・発表】各団体展出品、現代日本彫刻展等コンペ出品

特別授業



坂巻正美氏による講演及び学生指導



大平實氏によるワークショップ



しいのき迎賓館展示風景



カタルシスの岸辺滞在制作

2年次

2年次後期は、造形理論を深化させながら自己表現の可能性を探ります。

彫刻(二) I

石彫実習／金属彫刻実習

彫刻(二) II 選択課題

塑造(人体)／塑造(クレーワーク)／石彫／木彫／金属彫刻／複合表現

基礎科目

工芸演習／絵画演習／美学／西洋美術史II／色彩論／近代美術史

彫刻論 I



石彫実習



金属彫刻実習



塑造(人体)



塑造(クレーワーク)



木彫



木彫



複合表現

選択制による表現・素材別制作演習

3、4年次は素材や表現別に、またはそれらを横断しながら、個人のテーマ、内容を掘り下げ作品の完成を目指します。

彫刻(三) I・II

彫刻論 II

彫刻史特講

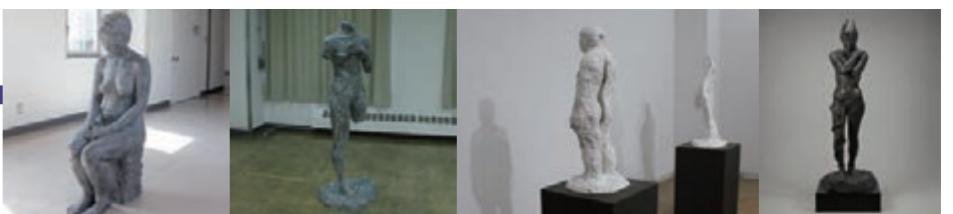
基礎科目

コンピュータグラフィックス

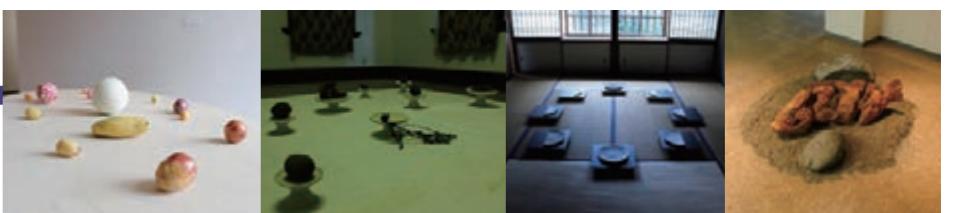
彫刻(四) I・II

卒業制作

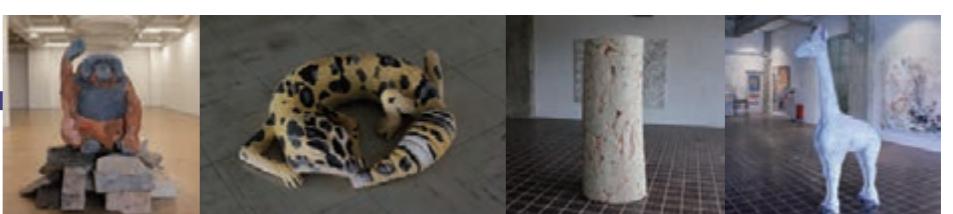
塑造(人体)



塑造(クレーワーク)



木彫



石彫



金属彫刻



複合表現



3年次・4年次



女の子はお尻を冷やしてはいけない 大野 紗月 石、毛糸 サイズ可変



隣人の鏡には人工的な罪悪感が映る 織田 桃代
ミクストメディア H208×W202×D197 cm(サイズ可変)



微表-5 川野 昌通 鉄 H435×W70×D70 cm



ユートピアの像 山内 郁人
FRP、セメント、鉄筋、ウレタン塗装 H240×W180×D160 cm



誰かの見えざる手 原 圭吾 石膏 H97×W100×D145 cm



プロジェクト《3DCGの彫刻性》 中嶋 彩乃



芸術学

芸術を広く深く探求し
地域、社会、そして世界への貢献を目指す。

伝統工芸のまち、
金沢ならではの環境をいかした
「学び」と「研究」の場を提供します。
芸術をあらゆる視点から深め
多様な領域における専門的研究を可能にし
その成果を世の中に還元できる人材を育てます。

理論と実技を学び、芸術の現場で活躍する人材を育成

芸術理論や美術史研究に多様な語学を連動させ、文章力、思考力を養います。豊富な実技の学習をとおして素材、技法、そして作品に対する理解を深めます。文化財調査や企画展開催などの実践から研究に必要な専門能力を培います。

1年次

理論と実技の両方を学び、芸術学の基礎を修得します。彫刻、工芸、デザインなどの実技科目、日本・東洋・西洋の美術史に関する講義科目によって、芸術に関する知識と理解を深め、また美術作品や文献資料の調査、研究の方法論、文章表現のノウハウを修得します。

芸術学演習(調査研究の基礎①)

日本美術史、東洋美術史、西洋美術史

彫刻・工芸・デザイン・映像メディアなどの実技

語学(英・仏)



芸術学演習(一)

導入教育として、美術史・芸術学を学ぶ上に必要な基礎的スキルを学びます。英語力の向上を図るために、テクストを多読します。金沢の文化財を対象とする実地調査にも取り組みます。

工芸技法の研究

日本の工芸技法に関する基本的な知識・技法を、制作を通して学びます。金沢卯辰山工芸工房を利用して、各工芸分野に対する広い理解力を身に付けることを目指します。



彫刻技法の研究

デッサンでモデルを把握し、粘土で人体像(首・胸像)を制作。石膏成形して完成させます。素材への理解を深め、用具などの取り扱い方を習得するとともに、彫刻に対する理解を深めます。

2年次

理論と実技の両方を学び、調査研究の能力を高めます。絵画、版画、工芸、美術表現などの実技科目、美学や近代美術史、工芸史などの講義科目によって芸術に関する知識と理解を深め、専攻演習では文化財の保存・活用、展覧会の企画・運営など、芸術分野における調査研究の基礎を修得します。

芸術学演習(調査研究の基礎②)

美学、工芸史、近代美術史

絵画、版画、工芸、美術表現などの実技

語学(英・仏・独・伊から選択)

芸術学演習(二)

専門的研究への入り口として、国内の歴史的美術作品の調査(文献調査・実地調査)を実践します。芸術学関連の英書講読では、精読をおこない美学・美術史の知識を深めます。



絵画技法の研究

対象物をしっかりと観察し、目から得た情報から絵画表現の基礎を学びます。スクリーン工房での制作、じっくり時間をかけて油彩画制作を行います。様々な画材や技法の実技経験を通して、絵画についての理解を深めます。



学外研修(古美術研修)

京都や奈良などの寺社・史跡を訪ねます。研修旅行前に、京都や奈良の古美術を中心とした歴史、造形的・文化財的価値、およびそれらの保存と活用の現状について学びます。見学先は学生自身が主体的に計画を立て、時には非公開の寺社・茶室などにも拝観申請を



古美術研修

学外活動の支援

美術館・ギャラリー・文化財修理工房などの見学も随時行います。また、金沢での展覧会の企画など、学生による自主的な学外活動を積極的に支援します。



毎田染工芸の見学(金沢市)

金沢芸術学研究会の開催と『芸術学 学報』の編集

学内外に開かれた金沢芸術学研究会は、年1回研究会を開催し、研究者に発表の場を提供しています。また修士論文の中から優秀なものを掲載した学術雑誌『芸術学 学報』を発行し、芸術学専攻内に事務局を置いています。



3年次

研究の専門性を高めつつ、各自の専門分野を確立します。美学、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史、工芸史、絵画表現から専門分野を選び、研究の専門性を高め、同時に美術作品の収集と研究、発表、展覧会の開催などを通して、芸術分野の研究活動を実践します。

芸術学演習(調査研究の実践)

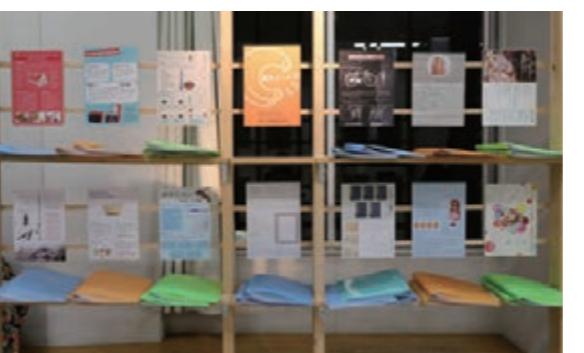
専門演習 (美学、日本・東洋美術史、西洋美術史、工芸史、絵画表現から選択)

絵画、コンピュータグラフィックスなどの実技

専門語学(英・仏・独・伊・古文などから選択)

芸術学演習(三)

3年次には、卒業論文の足がかりとなるよう、研究対象に応じたより専門的な演習を行います。また、各自が美術品を購入し、それについて多角的な調査・研究に従事する演習もあります。購入品は国内外の絵画、彫刻から工芸品まで、多種多様です。各自研究成果を口頭で発表し、レポートにまとめ、あわせて学内で購入品の展覧会を開催します。



卒業後の進路

愛知県陶磁資料館、石川県七尾美術館、石川県能登島ガラス美術館、石川県立美術館、石川県輪島漆芸美術館、伊丹市美術館、うつのみや妖精ミュージアム、金沢21世紀美術館、金沢市立中村記念美術館、金沢湯涌夢二館、九州国立博物館、黒都市美術館、公益財団法人鍋島報效会 微古館、静岡市美術館、女子美術大学歴史資料展示室、福井市自然史博物館分館、福島県立博物館、敦賀市立博物館、東京国立博物館、東北福祉大学芹沢珪介美術工芸館、富山県水墨美術館、富山県美術館、豊田市美術館、名古屋市美術館、福井県立美術館、福岡アジア美術館、古川美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、北海道立近代美術館、北海道立釧路芸術館、ボーラ美術館、柳宗理記念デザイン研究所、横須賀市美術館、横浜美術館、和歌山県立美術館、ヴァンジ彫刻庭園美術館、リンクーン群歴史協会(アメリカ合衆国)、東京藝術大学、福井大学、和光大学、公立および私立中・高等学校美術教員など【他大学進学先】九州大学、京都市立芸術大学、群馬県立女子大学、慶應義塾大学、神戸大学、昭和女子大学、総合研究大学院大学、千葉大学、筑波大学、東京学芸大学、東京藝術大学、東京大学、東北大大学、ニューヨーク大学、ブレーメン美術大学、ロンドン大学など



4年次

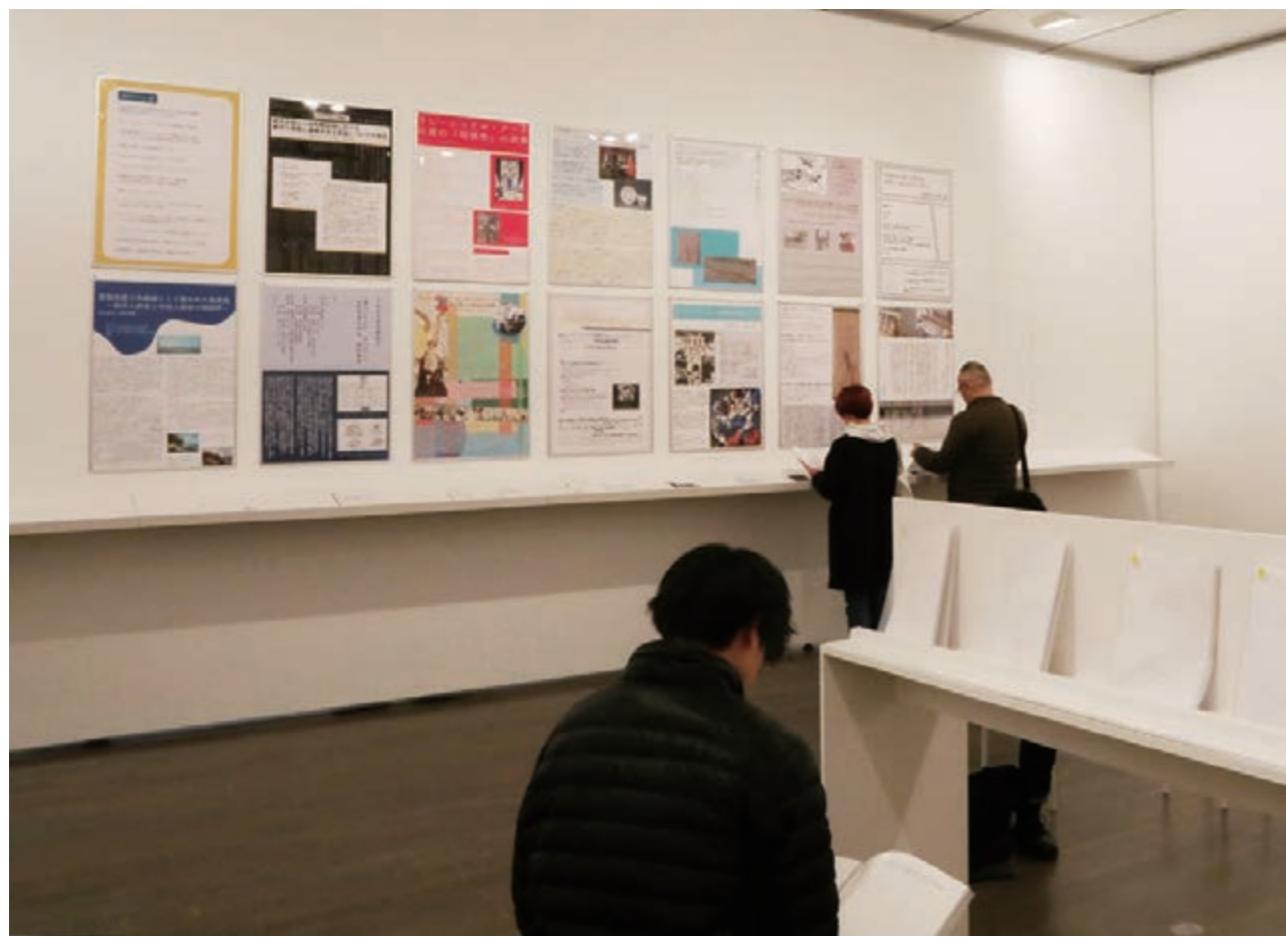
研究論文の執筆を行い、その成果を公開します。専門性に応じた個別指導を受けて調査研究を進め、定期的に行う中間発表を交えて自己の研究テーマを深めます。また、その研究成果を金沢21世紀美術館での卒論・修士制作展において展示すると同時に公開講演を行います。

芸術学演習(研究成果の発表)

卒業論文

専門演習 (美学、日本・東洋美術史、西洋美術史、工芸史、絵画表現から選択)

専門語学(英・仏・独・伊・古文などから選択)



卒業制作展 展示の様子



(使用画像は『ヘンリー・ダーガー非現実の王国へ』等をもとに構成)



視覚デザイン

デザインはコミュニケーション。
人の心を動かす技術と思考を学ぶ。

プロフェッショナルを多数輩出した
充実のカリキュラム。
手を動かし、ものづくりの原体験を積み重ね
多様な課題に取り組むことで
表現する「技術」と
問題解決する「思考」を徹底的に鍛えます。
それぞれの個性を尊重する少人数教育です。

人と人の間を豊かにつなぐヴィジュアルデザインを目指して

“ヴィジュアル・コミュニケーションは世界で戦う平和な武器である”を合い言葉に、徹底したマンツーマン教育を実践しています。デザインに「人の心を動かすアイデア」と「魅力的な表現」は欠かせません。当専攻ではあらゆるコミュニケーションジャンルに対応できること、また社会に通用する人材育成を目的に、一人ひとりの個性に合わせた高いレベルの制作指導を徹底しています。

Cultivate 碇耕

1年次

デザインの基礎を徹底して学ぶ
自分自身のデザイン力を耕す

基礎造形、表現と技術を学びます。
デザイン科3専攻共通の課題も用意されます。

視覚デザイン演習(一) 描出演習
形態演習 色彩演習
材料学演習



スタートデザイン



マテリアル



欧文書体



色彩演習



ゲーム



コンピュータリテラシー



ダンボール



シルクスクリーン

Inspire 触発

2年次

デザインの楽しさが触発される
自分自身のデザイン力を水を与える

新聞広告、写真、シルクスクリーン、アイデアトレーニング等、
ヴィジュアル・コミュニケーションの本質を学びます。

視覚デザイン演習(二) コンピュータ演習
印刷演習 映像演習



新聞広告



映像テクニック



写真



絵本



組版



印刷演習



ソーシャルデザイン



サービスデザイン

学外活動



研修旅行／直島、広島、出雲大社



地元の銀行でのプレゼンテーション



かなざわエコフェスタ2015／作品展示



印刷工場見学

学内行事



みんなでつくった絵本の見本市



美体祭(体育祭)



OACライブ

Blossom 開花

3年次

デザインを通して人と交流
自分自身のデザイン力を試し花を咲かす

ヴィジュアル・コミュニケーションの本質を学ぶための
応用演習が用意されています。

視覚デザイン演習(三) パッケージ演習
広告演習 画像処理演習
デザインマーケティング



IDENTITY BOX



メディアと体験



インフォグラフィックス



映像演習



企画課題



社会連携



卒業制作



パッケージデザイン

卒業後の進路

アイレムソフトウェアエンジニアリング(株)、株アサツー・ディ・ケイ、株アドブレーン、株ATA、ORBIS(株)、花王(株)、株加納デザイン事務所、キリンビバレッジ(株)、クボタ(株)、湖池屋(株)、コーネーテクモゲームス、コナミ(株)、株Cygames、株サンリオ、株ジェー・シー・パーク、株資生堂、株セガ、ソースネクスト(株)、ソニー(株)、株ソニー・コンピュータエンタテインメント、株大広、株DMM.Com、株TBSテレビ、株ティー・ワイ・オー、株タカラトミー、株たき工房、株DNPデジタルコム、株テレビ朝日、デンソーアクセス(株)、株電通、凸版印刷(株)、トヨタ自動車(株)、株ドワンゴ、株日本デザインセンター、日本郵便(株)、任天堂(株)、株博報堂、株博報堂プロダクツ、株阪急デザインシステムズ、株バンダイナムコスタジオ、株ナソニック(株)、株ピース、株ビズリーチ、株日立製作所、株ビボット、株ラビスインターナショナル、本田技研工業(株)、株毎日新聞社、三菱電機(株)、株メルカリ、ヤフー(株)、株リクルートコミュニケーションズ、株リッチェル、株リュウズ、1-UPスタジオ(株)

4年次

Harvest 結実

4年次

デザインを通して社会と交流
自分自身のデザイン力の実を結ぶ

応用演習のまとめとして卒業制作に取り組みます。

視覚デザイン演習(四) 卒業制作
意匠法規

企画課題

社会連携



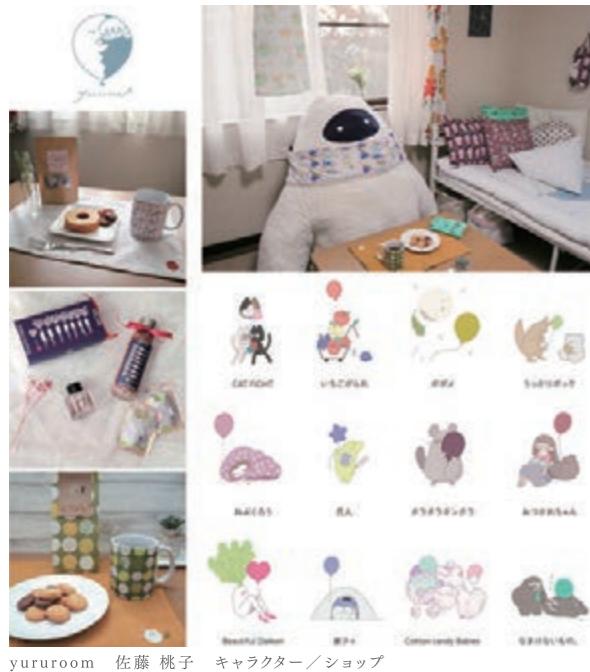
卒業制作



パッケージデザイン



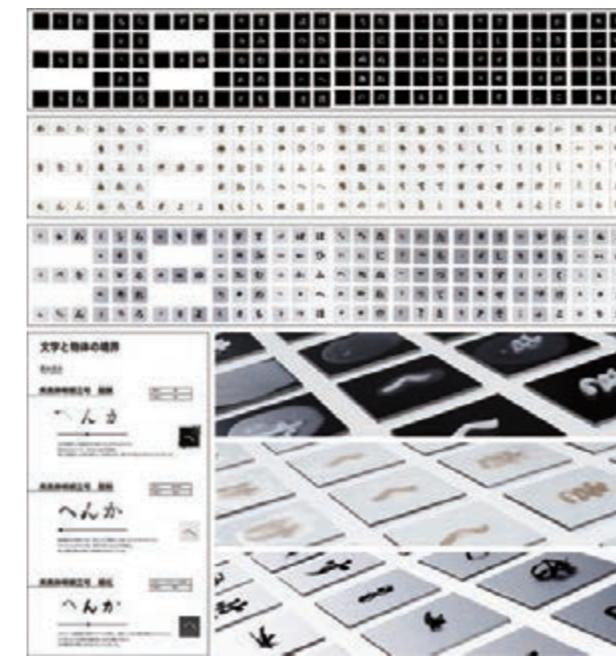
ゾーン 竹内 彰太郎 イラストレーション



yururoom 佐藤 桃子 キャラクター／ショップ



とんてん館 坪田 成未 アニメーション



文字と物体の境界 三好 冬悟 タイポグラフィ

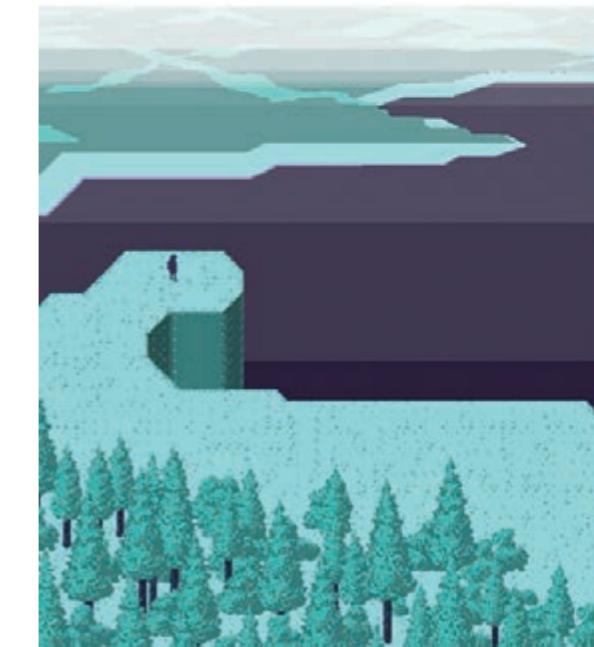


思考デブの20歳と5年 ぶくぶくBOOK 塩木 亜弥 コミックエッセイ



MEMORY

めざめると あすうみのほとりにいた
きおくはなく、じぶんが宿にものかもわからぬ
まらうけるのは たたかひ そして でいい
うしなったきおくのさきに まつものとは—



MEMORY 新田川 大樹 ゲーム



製品デザイン

柳宗理が推し進めた工房教育と
進化するカリキュラムで、
未来のプロダクトの姿を描く。
実践と検証を繰り返し、力を伸ばす。

自ら手を動かしながら
素材と技術を学び感性を磨く工房教育は、
バウハウスからの流れを継ぐもの。
社会情勢や生活環境の変化を捉えたカリキュラムで、
論理的思考、探求力、表現力、伝達力を強化します。
仮説から実験と改良を繰り返す
検証的デザインプロセスをとおして、
プロフェッショナルなデザインスキルを身につけます。

「手で考え、心でつくる」を理念に、 知性と感性豊かなプロのデザイナーを目指す

社会的ニーズに応える広い視野と解決力を持ち、コミュニケーション能力が高く、時代に敏感な創造性と造形力あふれるデザイナーを養成します。日用品や家具、電気製品、情報機器、公共用品、自動車などのデザインを扱います。様々な素材加工技術や思考プロセスを体験的に学び、理論を構築し、アリティを持って社会の要請に応えうる、人間に対する理解とチャレンジ精神に満ちたデザイナー・研究者・教育者の育成を目指しています。

Basic Training 1年次

デザインの基礎を学ぶ

基礎造形、表現、技術を学びます。デザイン科3専攻共通の課題もあります。工房教育として、金属、木材、プラスチック等の素材加工技術、塗装などを学びます。

製品デザイン演習(一)

描出演習

形態演習

色彩演習

材料学演習



製品デザイン演習(一)／基礎造形



製品デザイン演習(一)／アイディアデベロップメント



形態演習／透過する造形



写真演習



材料学演習(プラスチック)



材料学演習(石膏)



材料学演習(塗料)



材料学演習(金属)

Design Elements 2年次

製品デザインの要素を学ぶ

専門的なデザインスケッチやモデル制作の技法を学びます。製品の機能、素材、構造、詳細から造形を考えます。

製品デザイン演習(二)

コンピュータ演習Ⅰ 3D

デザインプロセス演習

インターフェースデザイン



製品デザイン演習(二)／コンセプトとカタチ



デザインプロセス演習／サービスデザイン



製品デザイン演習(二)／機能(GUI)



インターフェースデザイン



製品デザイン演習(二)／素材と構造と接合法



製品デザイン演習(二)／素材と構造と接合法



製品デザイン演習(二)



／行為・動作のデザイン(UCD)

社会連携事業



歩けるまちアートベンチプロジェクト
かなざわ道の船／金沢市



金沢マラソン2019完走メダル／金沢市



デザイントライアル／石川県



デザイン開発体験塾／金沢市

学外活動



AXISにて「これからのエンターテイメント」展開催
スカパー／スズキ



企業見学研修／フジフィルムCLAYプラザ
スカパー／スズキ



企業見学研修／いすゞプラザ
スカパー／スズキ



学外研修／平等院
スカパー／スズキ

Technical Knowledges 3年次

製品デザインのプロセスを通して手法を学ぶ

製品の調査、企画、デザイン、試作まで一貫した製品デザインのプロセスを通して手法を学びます。産学連携プロジェクトや、企業インターンシップへの参加など、より社会における実践に近い形でプロのデザイナーの仕事を体験します。

製品デザイン演習(三)

人間工学

デザイン工学

コンピュータ演習II GUI



製品デザイン演習(三)／椅子のデザイン



Comprehensive Products 4年次

製品デザインの応用として視野を広げ、必要なテーマを自身で発掘し解決に導く

インクルーシブデザイン演習、応用演習のまとめとして卒業制作に取り組みます。

製品デザイン演習(四)

卒業制作

デザインマーケティング

意匠法規



スタートデザイン



製品デザイン演習(四)／産学学習



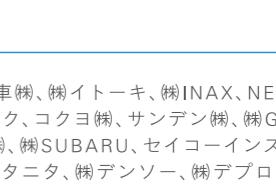
製品デザイン演習(四)／公共用品のデザイン



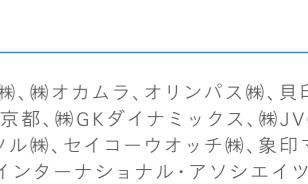
製品デザイン演習(三)／モビリティーのデザイン



卒業制作展(金沢21世紀美術館)



製品デザイン演習(三)／情報機器のデザイン

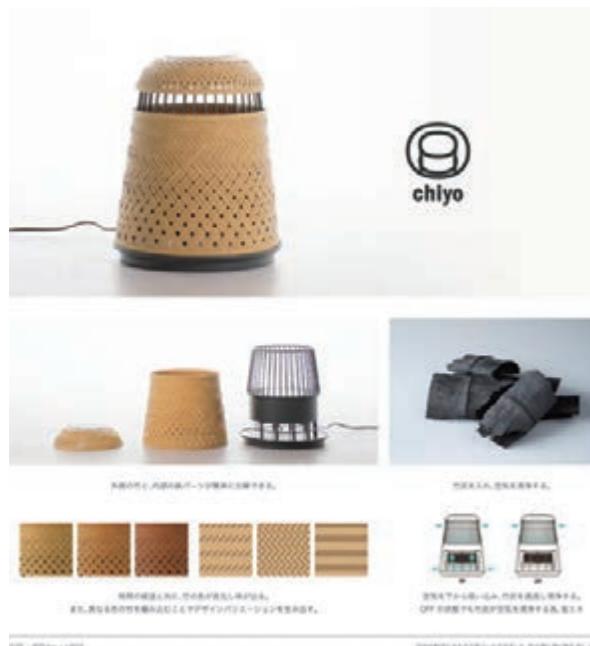
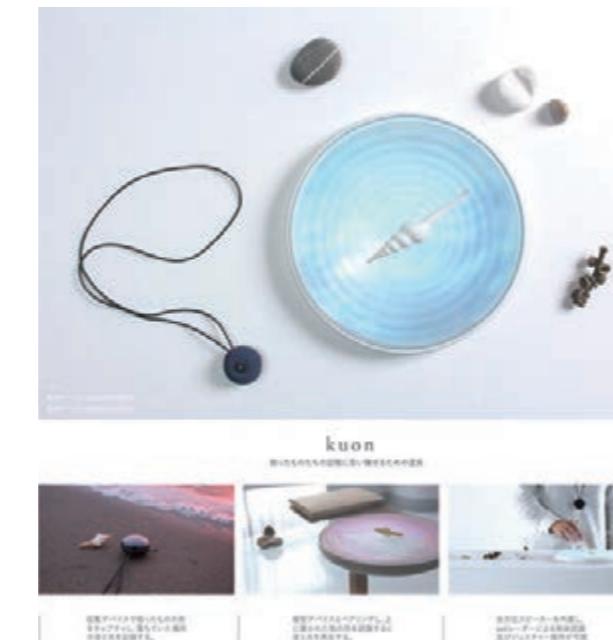


卒業後進路

アイシン精機㈱、愛知㈱、アイリスオーヤマ㈱、アシックス、いすゞ自動車㈱、イトーキ、INAX、NEC㈱、オカムラ、オリンパス㈱、貝印㈱、カシオ計算機㈱、カネカ、河津㈱、キャノン㈱、クボタ、ケイテック、コヨネ㈱、サンデン㈱、GK京都、GKダイナミックス、JVCケンウッド、シチズン時計㈱、シマノ、シャープ㈱、伸晃化学㈱、スズキ㈱、SUBARU、セイコーワンツル㈱、セイコーウオッチ㈱、象印マホービン㈱、ソニー㈱、ダイキン工業㈱、大建工業㈱、ダイハツ工業㈱、タニタ、デンソー、デプロ・インターナショナル・アソシエイツ、東芝、トヨタ自動車㈱、トヨタ車体㈱、豊田自動織機㈱、ナトコ㈱、ニコン、日産自動車㈱、日産テクノ、任天堂、パイオニア㈱、パナソニック㈱、パンダイナムコスタジオ、日立製作所、PFU、プラザー工業㈱、ホンダアクセス、本田技術研究所、マツダ㈱、ミクシィ、ミズノ㈱、三菱電機㈱、柳工業デザイン研究会、ヤマハ㈱、ヤマハ発動機㈱、LIXIL、リッヂウェル



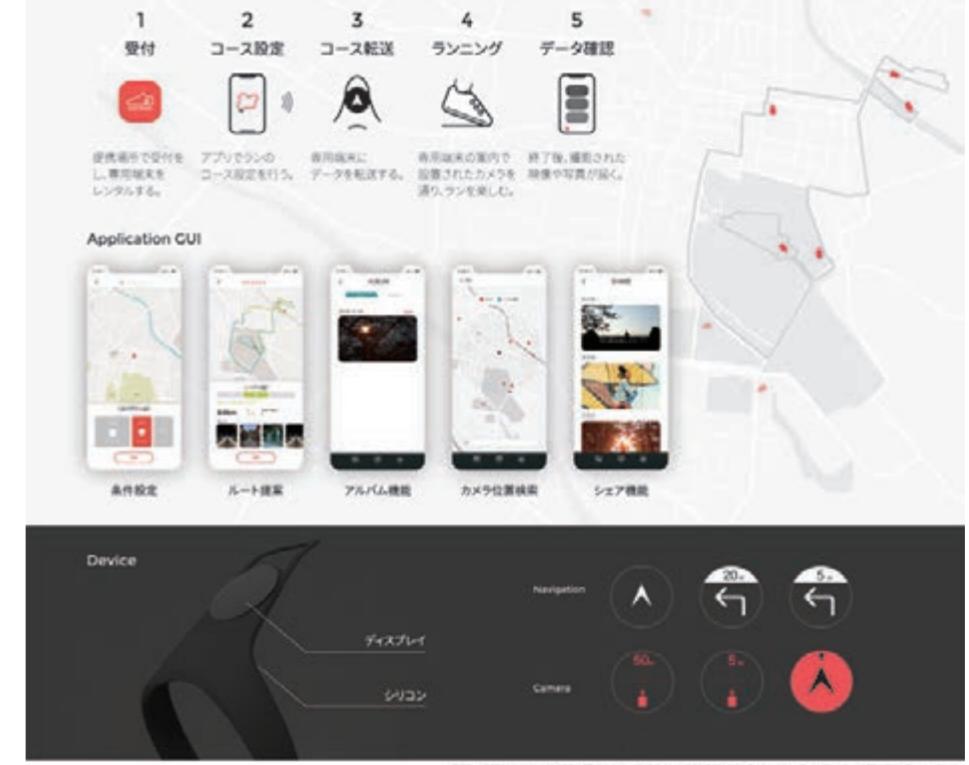
日常防災としてのモビリティ 重松 将太

長く人に寄り添う家電デザイン
-竹を使用した空気清浄機の提案- 川村 美月

拾ったものたちの記憶に思い馳せるための道具 坂上 立朗



旅ランナーの為の撮影サービス

UXデザインから生まれる体験価値とプロダクトの研究
-旅ランナーをサポートするUIとウェアラブルデバイスの提案- 渡邊 奈々重

環境デザイン

「人」から考える空間づくりを軸に
分野を横断した創造力を育てる。

自然がつくれたものであれ、
人工的につくられたものであれ、
私たちは24時間365日、
「空間」のなかでその時間を過ごしています。
環境デザイン専攻では、すべての基本を
「人」と「空間」の関係におき
多様なスケールでデザインの本質をとらえます。
伝統と革新が共鳴する
金沢のまちにも多くを学びます。



空間デザイン領域を柱として、社会に発信できるデザイナーを目指す

人のスケールを基本とした内部空間・インテリアデザインに軸足をおいており、その考えに基づいてデザイン・設計を計画、実施するカリキュラムが柱となります。そのためのデザイン演習の題材はショップ・ディスプレイデザイン、展示会やイベント、住宅や公共を目的とした施設、またそこで使用される設備、器具等や家具類です。また金沢の豊かな自然環境、都市環境に触れながら、活力あふれる独創的なデザインやまちづくりに携わる人材の育成を目指すとともに、一人ひとりの潜在能力を引き出し、現実の社会に対する提案力とグローバルな視野を養います。

Basic Design 1 基礎1 1年次

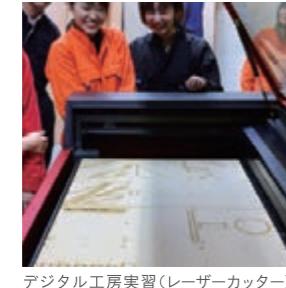
デザインの基礎を徹底して学ぶ
自分自身のデザイン力を耕す

基礎造形、表現、技術を学びます。
デザイン科3専攻共通の課題も用意されています。

環境デザイン演習(一) 描出演習
形態演習
材料学演習



コンピューター演習



デジタル工房実習(レーザーカッター)



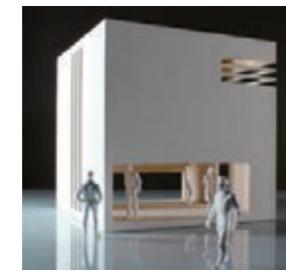
アナログ工房実習



身体空間



6mキューブ課題



写真実習

Basic Design 2 基礎2 2年次

空間デザインの基礎を学ぶ
自分自身の潜在能力を引き出す

インテリア、ディスプレイ、建築、庭園等の専門基礎を学びます。

環境デザイン演習(二)
コンピュータ演習
建築史II
建築製図法



ペンダントライト



ナチュラルマテリアル



金沢21世紀美術館での空間デザイン



住宅デザイン



ディスプレイデザイン



商品と店舗デザイン

学外活動



春の研修旅行



夏の企業見学ツアー



産学連携事業:三井アウトレットモール



社会連携の成果「いしかわインテリアデザイン賞2017 INTERIOR KOGEI賞」

学内行事



体験空間(美大祭展示)/2年生



オープンキャンパス専攻展示



国際交流(ドイツBAU国際大学)

Applied Design 応用 3年次

専門性と独創性を学ぶ
自分自身の専門性を深める

商業施設、公共施設を中心に高度な課題制作を行います。

環境デザイン演習(三)
地域空間論
屋内計画論
建築法規



リレー課題「廃コンビニをリノベーションする」「コンビニ→フルーツバー」



「コンビニ→図書館」



「コンビニ→住宅」



実寸制作「すわるをデザインする」



実寸空間

Practical Design 実践 4年次

課題を抽出し社会へ発信
自分自身のデザイン力を発表

金沢等の自然環境や社会環境から課題を見つけ、卒業制作に取り組みます。

環境デザイン演習(四)
環境デザイン特論
卒業制作



スタートデザイン



卒業制作／ランドスケープ



卒業制作／インテリア



卒業制作／建築



金沢21世紀美術館での卒業制作展



地球に還りうるサッカースタジアム 賴安 礼市

さいがわ交通公園
自転車の技能とルールを段階的に学ぶ交通公園 地金 育美こうかごサロン michi
高校生と政治の新たな出会いの場 森 真衣子

one forest 自然との関わりから人の豊かさを問う、「心を動かす空間デザイン」の研究 加藤 こころ



SHELTER as GEO 環境問題を地域の魅力に繋げる 藤原 なつき



工芸

陶磁／漆・木工／金工／染織

伝統と革新の現場が、ここにある。
金沢で学ぶ、工芸の最先端。

伝統技術が生きるまちで
さまざまな素材と技術に触れることで、
つくり手の表現力を高めます。
時代の思考を適切にとらえる感性は、
新たな美を創出します。
新しい工芸の世界を拓き、
世界へつなげる架け橋となる力を育みます。

新しい工芸の世界を切り拓く人材の育成を目指します

工芸科では大学4年間の前半で各種伝統技法や素材について学び、特に工芸に対する知識と技術の習得を目指します。後半では「表現力と創造性」をキーワードとし、陶磁・漆・木工、金工、染織の各コースの特色をいかしながら相互に連携を保ち、専門課程を軸とした研究に取り組みます。本学士課程をとおして、世界に通ずる工芸作家やデザイナー、研究者、指導者を育成することを目指します。

学外活動



地域工芸演習

伝統文化論(能楽)

伝統文化論(華道)

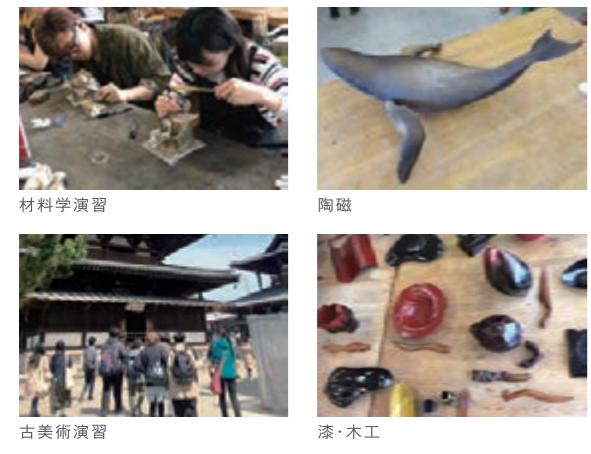
卒業制作展

1年次

「基礎と体験」ととらえ、工芸のあり方を模索します。

- | | |
|-----------------------|------|
| 工芸演習(一) 描出演習 | 形態演習 |
| 色彩演習 | 写真演習 |
| 材料学演習(繊維、粘土・石膏、木材、金属) | |
| 伝統文化論 立体図法 | |

1年次は工芸の基礎を習得すると共に、陶磁・漆・木工・金工・染織の各コースを体験し広く表現力を養います。



2年次

「素材と技術」ととらえ、専門分野の知識と技術を養います。

- | | |
|---------|--------|
| 工芸演習(二) | 素材技法演習 |
| 古美術演習 | |

陶磁コース

2年生では陶磁の基礎と表現媒体としての土の可能性を学びます。3年生では造形表現とデザイン展開を実践的に学びます。九谷焼の土壤を踏まえた技術習得に加え陶磁器による新たなモノづくりを模索し続ける、時代を見据えた次世代の表現を切り拓く人を育成します。

3年次

「自己発見」の期間として、表現力と創造力を深めます。

- | | |
|-----------|--------|
| 工芸演習(三) | 現代工芸論 |
| 地域工芸演習Ⅰ・Ⅱ | 複合素材演習 |
| 工芸企画演習 | |



漆・木工コース

2年生で漆芸の基礎を学び、3年生では素材や技法の展開と応用、さらに4年生では表現を目的とし、現代における漆・木工芸の可能性を探ります。また伝統や現代あるいは地域や文化など広い視野で時代を捉え、将来広く活躍し得る人材の育成を目指します。



金工コース

現代の生活や社会の環境、情勢など世の中の動きを見据えながら、金属の特性を活かした鍛金、鍛金、彫金技法を習得し、豊かな表現力を養います。マンツーマン教育を通じ、次世代を担う人材の育成を目指します。

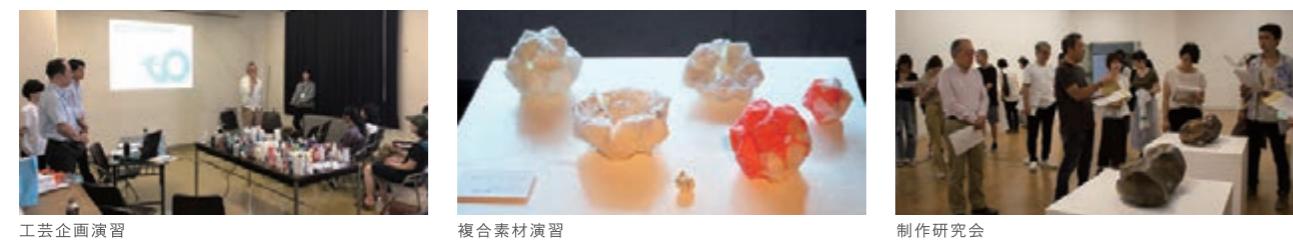


染織コース

当地は加賀友禅の産地であり、また合成繊維の製造・加工に関して、質・量ともにトップレベルの産地です。本コースでは伝統から先端にいたる幅広い技術の習得、造形的表現やデザイン理論に軸足をおきながら、マンツーマン教育を通して新たな時代のモノづくりを目指します。



学内活動



工芸企画演習

複合素材演習

制作研究会

卒業後の進路・活躍

赤木明登うるし工房、アッシュ・ペー・フランス㈱、㈱ACKS、石川県工業試験場、石川県立九谷焼技術研修所、石川県立山中漆器産業技術センター、石川県輪島漆芸美術館、㈱INAX、宇仁織維㈱、AMD㈱、大阪産業大学、鹿児島大学、上出長右衛門窯、グンゼ㈱、㈱ケイ・ウノ、劇団四季(四季㈱)、㈱小西美術工藝社、㈱サンゲツ、セーレン㈱、セイコーラインスツル㈱、ソニーPCL㈱、高岡デザイン・工芸センター、竹内プレス㈱、田崎真珠㈱、多治見陶磁器意匠研究所、㈱たち吉、tamaki niime、TBカワシマ㈱、東リ㈱、㈱とみひろ、富山県織維試験場、西川産業㈱、㈱ニッコー、NIWAKA、白山陶器㈱、㈱バンダイ、飛驒産業㈱、福井県工業技術センター、㈱二上、㈱保志、アルテマイスター、㈱ミキモト装身具、㈱山崎麻織物工房、㈱ヨーガンレール、Los Angeles County Museum of Art、㈱ワコール、スズキ㈱、㈱エーアンドエス、匠樂大竹仏壇製作所、金沢卯辰山工芸房
【受賞・発表】アートアワードトーキョー丸の内2012 シュウウエムラ賞、第50回日本クラフト展 日本クラフト大賞・経済産業大臣賞、2012伊丹国際クラフト展(酒器・酒盃杯) 奨励賞(ユーアイ賞)、第45回伝統工芸日本金工展新人賞、第39回国際染織作品展奨励賞

4年次

「創造性」をキーワードに、伝統に学び、新しい工芸の世界を開いていきます。

- 工芸演習(四)



足音 猪子 紗英 ブロンズ H29×W50×D20 cm 他6点



家から家へ 遠藤 茜 漆、麻布、綿、金具 他 H50×W96×D45 cm



memory 屋代 望 漆、電子パーツ、螺鈿、合板
H173×W121×D3 cm



記憶の景色 村岡 ゆきの 銅 H43×W140×D80 cm



『またどこか遠くで』 知名 采音 ウール、ラミー、酸性染料、直接染料 H2130×W2800 mm



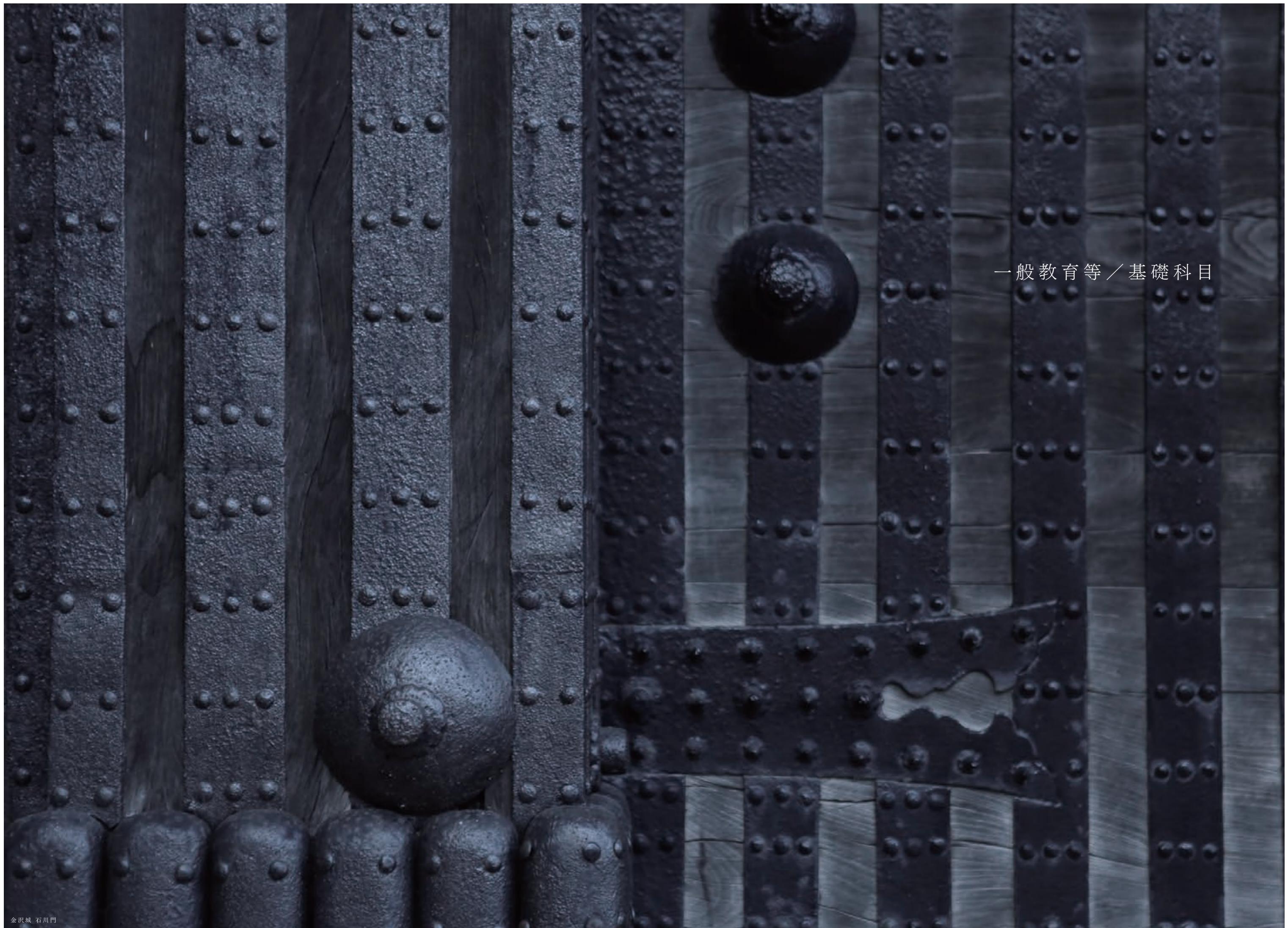
big boom 李 佳妮 磁器土 H75×W500 cm



華 -栄- -枯- 田中 陽子 陶土、磁土
(栄)H100×W100×D53 cm (枯)H73×W73×D56 cm



庄着と剥離の繰り返しの中で見出す粘性的形 井上 藍
綿、反応染料 H480×W476×D630cm



一般教育等／基礎科目

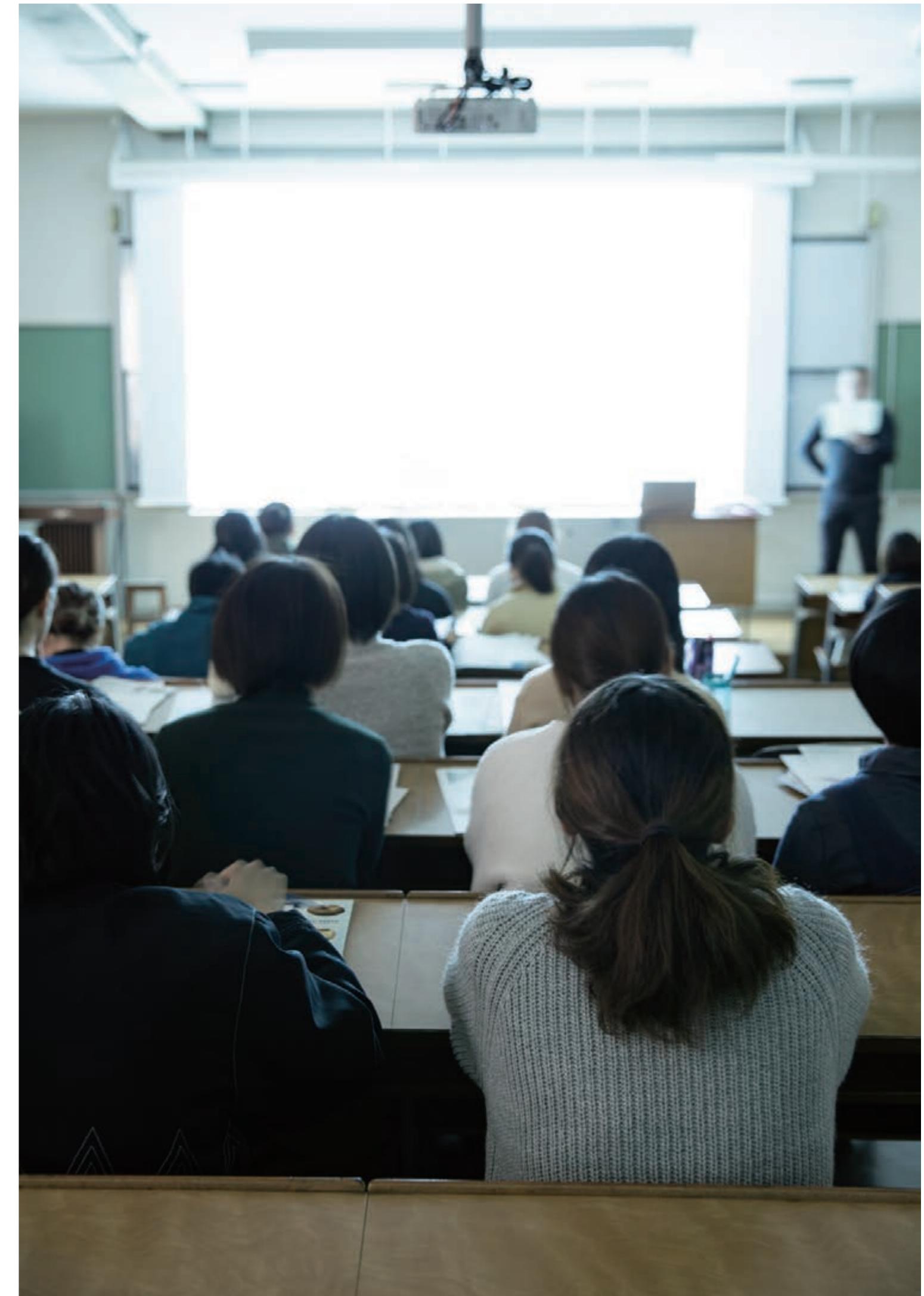
一般教育等

クリエイティビティは
文化を楽しむ感受性から生まれる。

伊勢物語からAINシュタインまで、
創造性を育むリベラルアーツの領域は無限大。
音楽、映像、漫画、コンピュータなど
幅広い学びの世界へ誘います。
救命救急、生涯スポーツをはじめとする体育、
少人数・実践重視の語学演習(英・仏・独・伊)は
学生の多彩な進路をサポート。
4割の学生が教員免許状を、
3割の学生が学芸員の資格を取得しています。

Curriculum

<一般教育>			<教職科目>			<博物館科目>		
哲学	フレッシュマンセミナー	数理科学	教育の本質と目的	生徒指導論		博物館概論		
心理学	キャリアデザイン	英語	教育心理学	教育相談研究		博物館資料論		
歴史	金沢の文化行政	フランス語	教職論	教育実習		博物館経営論		
日本国憲法	スポーツ科学	ドイツ語	教育課程論	教職実践演習		博物館情報・メディア論		
文学	物質の科学	イタリア語	教育方法論			博物館資料保存論		
文化人類学	材料の科学	体育実技	道徳教育研究			博物館展示論		
考古学	情報処理		美術教育法			博物館教育論		
人間と文化	エコロジー		工芸教育法			博物館実習		
生涯学習概論	科学技術史		教育制度と社会					





基礎科目

専攻の枠を超えて理論と実技を学ぶ。

そこにはいつも新たな発見がある。

表現の手法が拡張し、融合していく時代。

金沢美術工芸大学は、

そのはじまりから

専攻の枠を超えて学ぶことを

大切にしてきました。

すべての表現の根底にある本質を学び、

創造力の基礎を培います。

Curriculum

美学	造形心理学	デザインI	工芸I(金工)	造形表現工房IV
日本美術史I	環境心理学	(インタラクティブ)	工芸II(陶磁)	(素材・技術／素材技術研究)
日本美術史II	建築論	(写真)	工芸II(ガラス)	(素材・技術／現代美術ミクストメディア)
東洋美術史I	専門英語演習	(ペーパーストラクチュア)	工芸III(木工)	(素材・技術／芸術と科学)
東洋美術史II	芸術と批評	デザインII	工芸III(漆・木工)	(素材・技術／ファッションデザイン演習I)
西洋美術史I	保存修復概論	(椅子)	工芸IV(染織)	(素材・技術／ファッションデザイン演習II)
西洋美術史II	絵画I(素描・静物)	(ステーショナリー)	映像メディア	造形表現工房V
近代美術史	絵画I(素描・人体)	(ファッショニ)	コンピュータグラフィックス	(社会環境／アートプロジェクト)
工芸史I	絵画II(版画)	(日用品)	版画	(社会環境／地域連携演習)
工芸史II	絵画III(日本画)	デザインIII	工芸技法(紙)	(社会環境／景観形成・造園演習)
美術工芸持論	絵画III(油絵)	(ランドスケープA)	ファッショントザインベーシックA	(社会環境／社会教育・美術教育)
美術解剖学	絵画III(フレスコ)	(ディスプレイ)	ファッショントザインベーシックB	造形表現工房VI
図学	彫刻I(塑造)	(オブザベーション)	造形表現工房I	(語学・理論／美術教育セミナー)
色彩論	彫刻II(彫造)	(平面・銅版画技法)	造形表現工房II	(語学・理論／芸術と言語表現)
メディアアート		(立体・彫刻表現)	造形表現工房III	(語学・理論／工芸作品展示と言語表現)



大学院

修士課程

修士課程／ファッションデザインコース

博士後期課程

修士課程

専門性を高め

学間に通じる道を拓く。

実践のなかに理論を見出し、

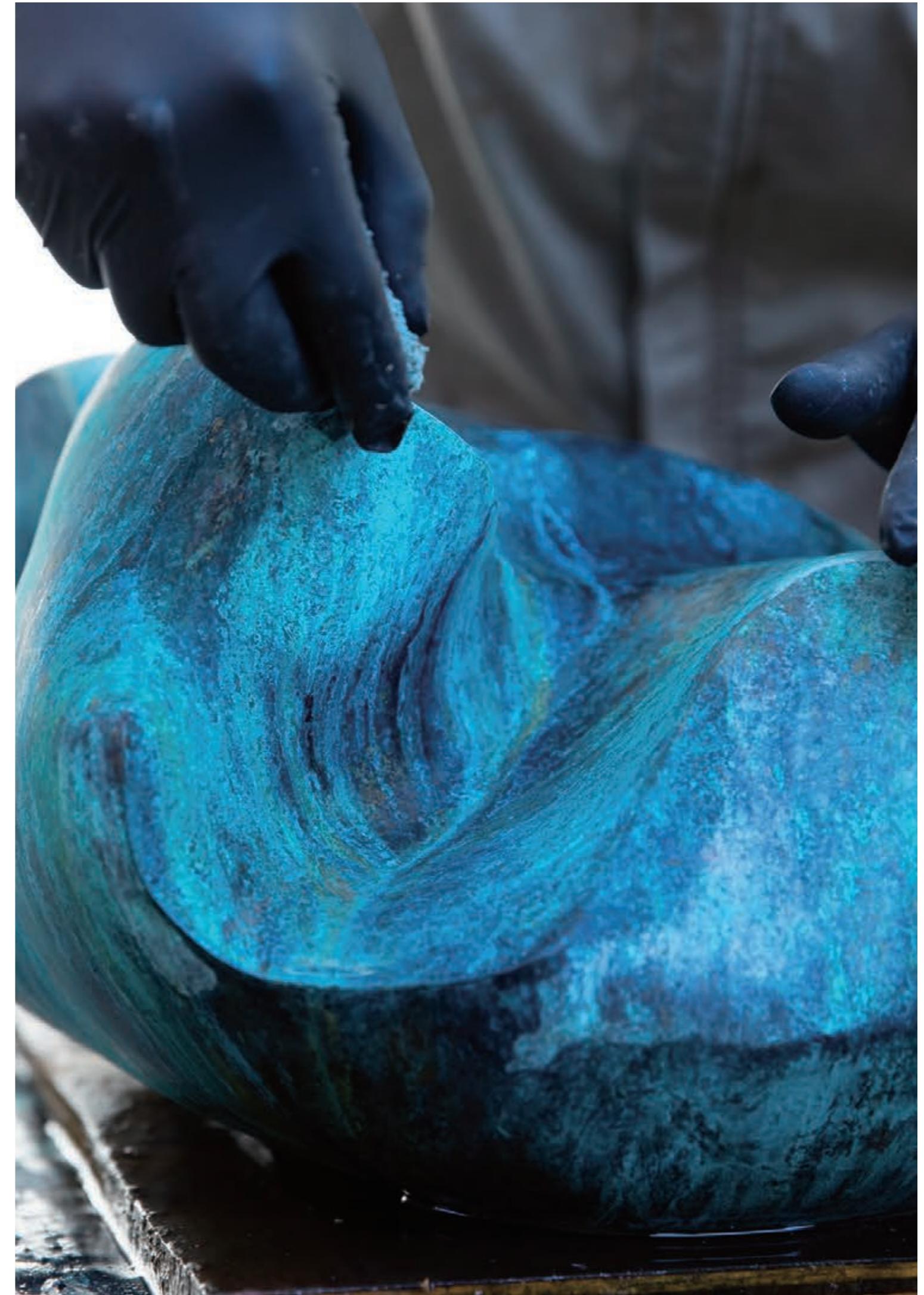
理論から実技へ発展させます。

相互に学びを高めることで、

作品と理論を深化させていきます。

国際的に開かれた環境で

切磋琢磨を重ねる、創造と研究の場です。



美のなかに真、技のなかに智、学のなかに人あり

大学院修士課程は、博士前期課程としても位置づけられており、「広い視野に立って精深な学識を授け、芸術の各分野における創造、表現もしくは研究能力または芸術に関する職業等に必要な高度な能力を養う」ことを目的としています。学部での研究・制作を基礎とし、さらに専門分野・専門領域のより高度な研究・制作を自らの研究テーマに沿って行います。博士後期課程において求められる学識や能力の形成も視野に入れ、語学・論文作成能力の育成にも配慮したカリキュラムが編成されています。1979年の大学院修士課程設置以来、他大学出身者や外国人留学生も多く在籍し、自由で開かれた制作・研究の場となっています。

絵画専攻

日本画コースと油画コースの2つの研究分野があります。「日本画制作」「油画制作」「絵画技法演習」「絵画修了制作」等の実技演習を中心とし、一方で、「絵画特論」をはじめとして、「美術史特講(日本、東洋、西洋)」や「美学・芸術学特講」など理論面でも充実しています。絵画における伝統的表現を基礎に、現代アートにも目を向け、自由な発想のもとで創造の世界を追求することで多様化する美術の展開に対応しています。

工芸専攻

陶磁、漆・木工、金工、染織の4コースがあり、金工と染織はさらに2分野に分かれ、6専門分野で構成されています。恵まれた環境のもと、技術的、造形的に、高度な研究ができるよう配慮されています。実技・演習に重点を置きつつ、理論的造形思考を高めるために「工芸特論」、「地域文化論」をはじめとして10理論科目が開講されています。常に伝統と現代を追求すること、素材に対する新たな挑戦が期待されています。



絵画専攻 「園」 中田 目菜子



彫刻専攻 「地があれば 陽は地を照らす」 上岡 安里



工芸専攻 「On.」 須賀 広大

彫刻専攻

彫刻コースでは、塑像、木彫、石彫、金属彫刻を、環境彫刻コースでは、インスタレーション、コンセプチュアルな創造、ジャンルを横断した造形に対応する制作を行っています。理論科目では、都市空間、公共空間、自然空間の中での立体造形について考察し、多様化する現代美術の展開についても思考を重ねています。伝統的表現技法を追求しつつ、自由な発想のもと創造の世界を広げ個性的な作品を生み出すことを目指しています。

デザイン専攻

視覚デザイン、製品デザイン、環境デザイン、ファッションデザインの4つのコースがあり、現代社会とデザインの様々なテーマに即した実践的な演習が設けられています。また研究の深化には造形の基礎と展開及び方法論が不可欠であるという認識のもと、理論科目も用意されています。博士後期課程への進学の道が開かれていています。修了後は、研究者、教育者、ディレクター、デザイナーとして活躍しています。



デザイン専攻 「ゲーム機能を使った地域文化資産の研究とボードゲーム「Cha&You」での展開」 凌 蕴

芸術学専攻

美学、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史、工芸史の5つの研究分野をおき、演習・特講によって専門研究を行っています。また分野にとらわれない総合的・学際的関心を育成するための「芸術学特論」、美術大学の特色を生かした技法・素材研究のための「美術技法研究」なども設けられています。公開の研究発表を重ねながら学術的に高度なレベルの修士論文を制作し口頭発表することが課せられています。金沢の様々な美術館・博物館を活用した授業、国内外の実地調査、展示企画等の指導も行い、理論と実践を兼ね備えた美術の専門の研究者の育成を目指しています。修了生は学芸員をはじめとして広く美術の分野で活躍しています。博士後期課程進学、海外留学を選ぶ学生も多くいます。



修士課程

ファッション デザインコース

美的創造性と多角的感性。
ファッションスキルのすべてを
ここで叶える。

ファッションは私たちに最も密着した文化。
くらしや心を、豊かにしてくれます。
芸術と文化が融合するまちで、
デザインからブランディング、ビジネスまで
リアルなクリエーションを通して
ファッションに特化した人材を育てます。



ASHLILY-質実剛健なフェミニティの構築- 小林 未来



Solitude

Solitude 何かを思い出すための服 松本 直大



刺繡と染色の融合とファッションの提案 大田 香

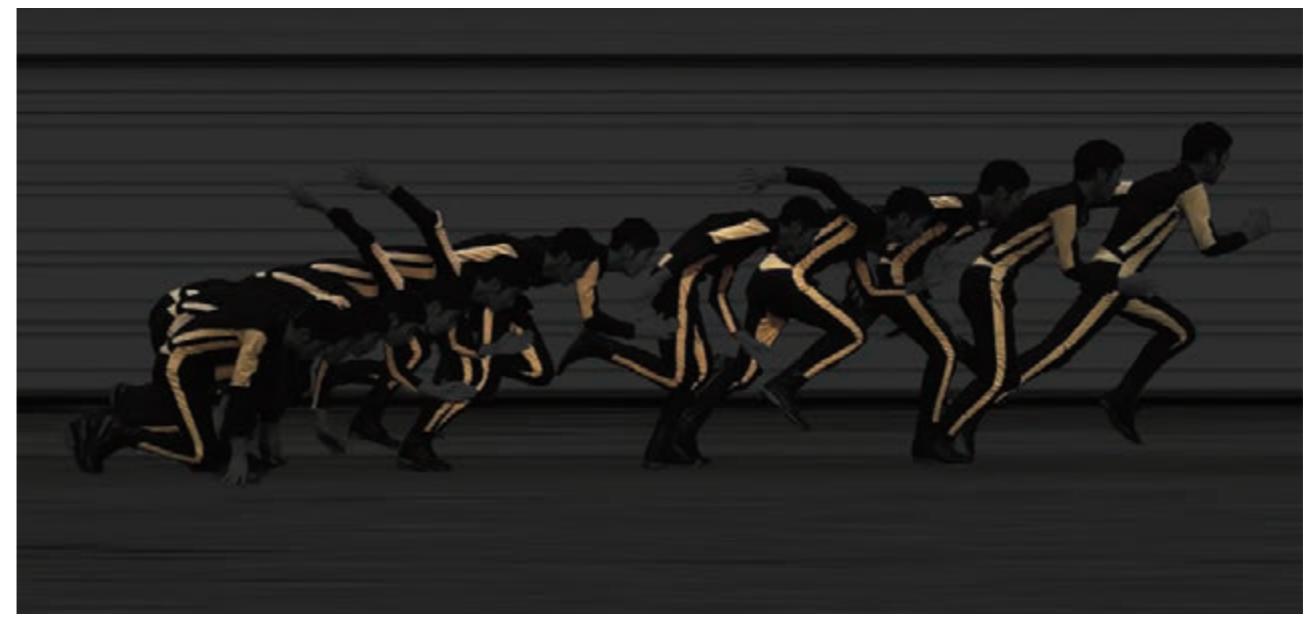


No.01

getoku stand/prototype
① ② ③ ④ ⑤

No.02

knit guardian/prototype
① ② ③ ④ ⑤



動きやすい服の研究-ノンストレッチ素材によるノンストレスな服- 久保木 啓太

実技と理論の総合研究

大学院博士後期課程では、「芸術に関する高度な創造および表現の技術と理論を研究教授し、地域の美術工芸の深奥を究め、これを総合的に発展創造させ、自立して創作および研究活動を行うために必要な高度の能力を備えた美術家および研究者を養成すること」を目的とした研究制作指導・博士論文指導を行っています。年2回公開の研究発表が行われるほか、「地域美術演習」、「造形総合研究」といった実技と理論を総合した学際的な科目も設けられ、学内外を研究の場とした比較的自由なカリキュラムのなかで研究が保証されています。博士後期課程の学生たちは国内外で活躍する作家、研究者でもあり、積極的に広く研究活動の場を求めていました。1997年の設置以来、作家、デザイナー、研究者、国内外の大学教員など、精力的に活躍している61名の芸術博士を世に送り出してきました。

博士後期課程

金沢から世界へ。

深く、豊かに学び、大きく羽ばたく。

美術作家として、また研究者として

より高い領域に到達するための

高度なカリキュラム。

世界を目指し、鍛錬を重ねます。



「Stranding things」 早川 璃

〈美術研究領域〉

日本画
油画(版画・壁画・絵画組成)
彫刻

〈工芸研究領域〉

陶磁
漆芸
金工
染織

〈環境造形デザイン領域〉

環境デザイン
ヴィジュアルデザイン
プロダクトデザイン

〈芸術学研究領域〉

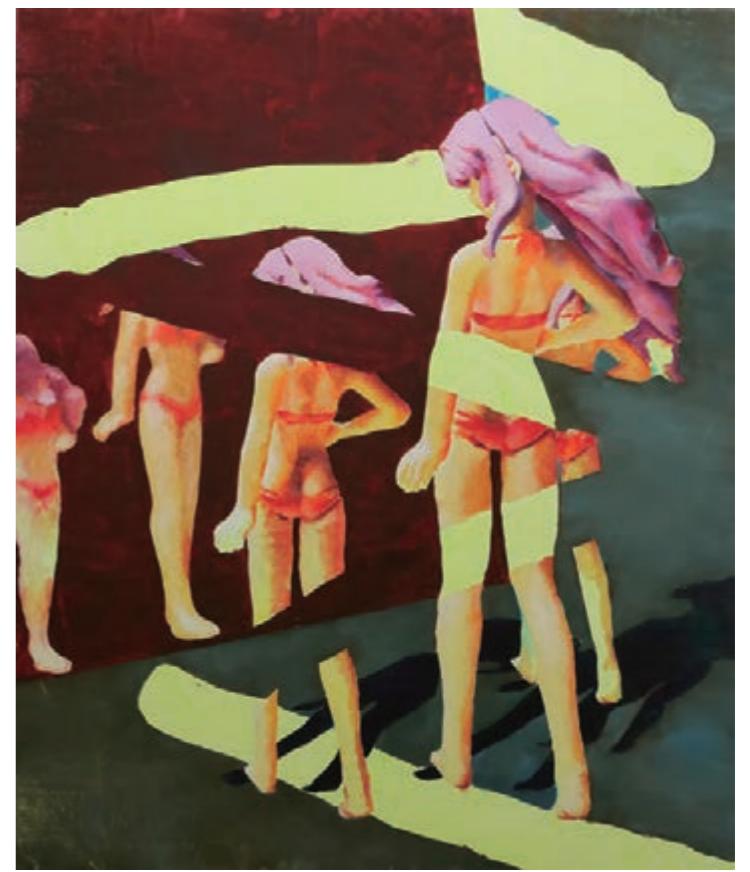
美学
工芸史
日本・東洋美術史
西洋美術史



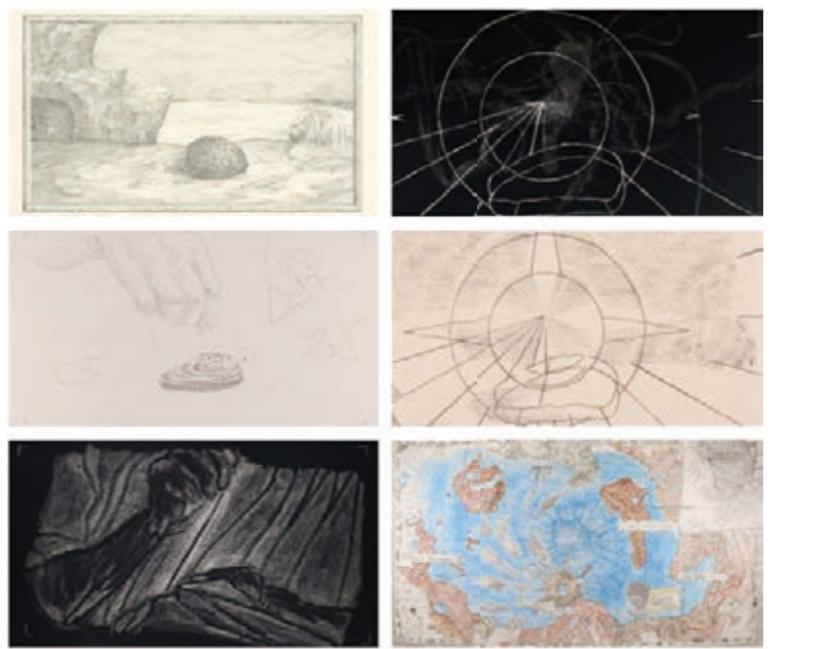
「Vision」 米田 貴雅



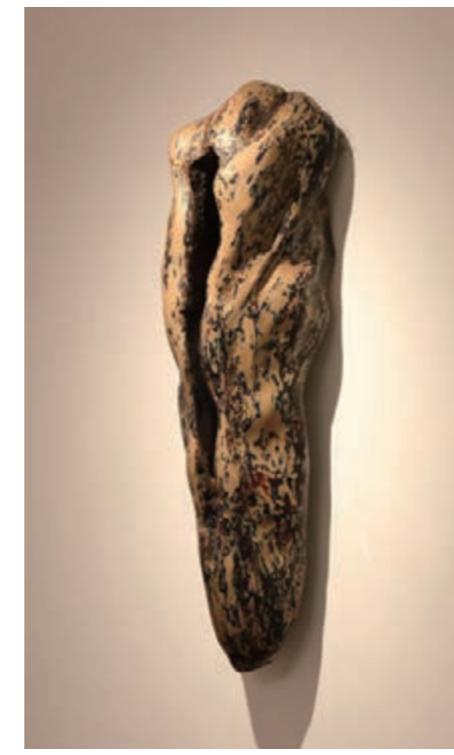
「噛み合わせについて」 高橋 直宏



「ミッドナイトクロス」 千川 岳志



「Rebound」 竹内 佑未



「積彩の生成2020-I」 金保 洋



「可変の衣服」 前田 博子

大学情報

美術工芸研究所

美術工芸研究所では、内外の美術工芸の学際的研究、工芸の継承・育成、地域の文化発展への助言・協力、美術工芸資料の収集、保存、調査研究、展示、教育に関する事業を行っています。

所長 安島 諭 教授 (製品デザイン)
よしだ ぎょうこ 准教授 (日本画)



「象嵌臘銀花器」中川衛 1990(平成2年) 口径7.6 腹径24.4 底径10.0 高21.1(cm)

最近の研究

平成の百工比照収集作成事業(デジタルアーカイブ作成を含む)(平成22年度～)
高屋肖哲 新出一括資料の整備・調査(平成27年度～)
益田祐作コレクションの整備・調査(平成27年度～)

資料収集と活用

美術・工芸・デザインに関する資料を約6,000点収集・管理しています。これらは美術工芸研究所ギャラリー等での展示や、他の美術館への貸出を通じて学内外へ広く公開しています。また、教員や学生にも授業の教材や研究素材として活用されています。

教育と地域交流

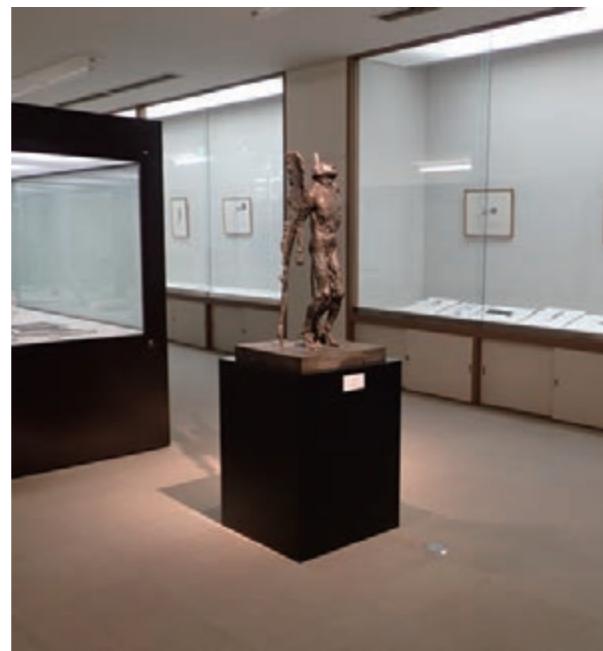
令和元年度より、日本に滞在中の外国人留学生を対象として、本学教員の指導の下で金沢の工芸を見て聞いて体験し、日本の文化に触れる「KANABI工芸セミナー」を開講するなど、工芸文化の紹介や地域間の交流促進をはかる活動をおこなっています。

美術工芸研究所ギャラリー

平成29年4月に本学の一般公開型の展示施設として整備されました。ギャラリーには、所蔵作品の展示コーナーと全国規模で工芸資料を収集した「平成の百工比照」の展示・閲覧コーナーがあります。年間数回の企画展を通じてさまざまな角度から本学所蔵作品をご紹介しています。



「卒業・修了制作 買上作品セレクション2019」
令和元年7月5日～9月27日 美術工芸研究所ギャラリー



「人体彫刻とデッサン 清水良治寄贈資料と本学所蔵作品から」
令和元年10月4日～令和2年2月28日 美術工芸研究所ギャラリー

教育研究センター

本学教員の研究を紹介する研究発表展の開催や、他大学との研究者間交流事業を行っています。また、本学学生に対する教育の充実をはかるため、教員の教育活動支援事業を実施しています。加えて、免許状更新講習を通じて、全国の美術教育の資質・能力の向上に貢献しています。

センター長 原 智 教授 (工芸科)



「金沢美術工芸大学 教員研究発表展 2019 美大のしごと」
令和元年11月26日～12月2日 しいのき迎賓館ギャラリーA、B



柳宗理記念デザイン研究所

本学で長年にわたり、教鞭をとった世界的工業デザイナーである柳宗理氏(1915-2011)のデザイン思想やデザイン史における位置づけを明らかにする調査研究を進め、その成果を学生の教育にいかし、広く社会へ発信することを目的としています。

所長 安島 諭 教授 (製品デザイン)



展示資料室1(常設)



「技術とかたち - 柳宗理の木工家具 - 曲木」
平成31年3月29日～令和元年5月26日 柳宗理記念研究所展示資料室2

社会連携センター

金沢美術工芸大学は社会貢献を教育と研究に並ぶ大学の使命と位置づけ、地域連携・産学連携をとおして積極的に活動を行っています。本学の持つデザイン、美術工芸分野に関する専門知識や技術、社会連携で得られた成果を広く社会に還元するとともに、産業や地域の活性化に貢献し、これらの活動を体験することで、より実践的に社会に貢献できる人材を育成します。

社会連携センター長 安島 諭 教授（製品デザイン）

地域連携部門

本学のもつ人的資源やノウハウを活用し、地域社会や市民生活に対する芸術文化貢献事業などを通し、グローバルな視点を持ちながら地域の課題解決を取り組んでいます。

産学連携部門

地域産業や伝統文化の発展のため、企業、組合団体、他大学、研究機関、国や自治体などと連携し、新しい価値を創出する研究開発や、新たな産業・事業の振興を目指しています。

知財管理部門

大学で生まれた知的財産権の管理、活用や戦略立案、知的財産権を通じた社会との連携促進まで、産業界や地域社会と一緒に各連携部門の活動を支援、推進しています。

金沢マラソン2019 完走メダルのデザイン作成

金沢マラソンは2015年から開催され、本年度で5回目となります。金沢をまるごと「走る！」をキャッチフレーズに、金沢の魅力が満喫できるフルマラソンとして大変人気の高い大会となっています。その完走者に贈る完走メダルのデザインを、初回大会から続けて提案させていただき、ランナーからも大変好評となっています。完走メダルには、金沢らしいオリジナリティあるデザインが求められ、学生たちの豊かな感性をベースに今回もクオリティの高いメダルデザインが提案されました。



歩けるまちアートベンチ「かなざわ道の船」 のデザイン及び制作

このプロジェクトは、魅力的なデザインのベンチを金沢市の都心軸に設置することで、来街者や市民の回遊性向上を図り、憩いと賑わいの空間を創出する目的で実施されました。かつて城下町に賑わいや恵みをもたらした北前船に見立ててデザインを行い、11箇所全て異なる形状を県産材を用いて考案しました。ベンチの柱に設けたQRコードをスマートフォンで読み取ると、観光情報や歴史情報を楽しむことができます。



第42回金沢都市美文化賞受賞

附属図書館

万巻の書籍から、達成できる研究がある

1カットの挿絵から、ひらめく発想がある

本の世界、そしてマルチメディアへ



蔵書

2020.3.31 現在

図書	119,750 冊
和書	92,540 冊
洋書	27,210 冊
雑誌	1,481 誌
和書	1,321 誌
洋書	160 誌
視聴覚	3,351 タイトル

利用状況

2019年度

入館者数	50,429 人
貸出冊数	12,033 冊
市民登録者数(累計)	1,260 人

附属図書館長 桑村 佐和子 教授（一般教育等）

「大学で美術を学ぶ」ということは、自分の表現や意識をいつも振り返り、自分なりのコトバやカタチを見つけていくことと言えるでしょう。そのアドバイザーとなる場所が図書館です。

本学附属図書館の歩みは、1946年金沢美術工芸専門学校の設立から始まりました。時代も貧しく、200冊程度の教員の持つよりから図書館が始まったのです。

なんてほのぼのした時代だったのでしょうか！その後、図書館棟は、1972年の現在のキャンパス移転に伴って新築され、旧キャンパスの図書館棟（かつての本多蔵品館）の設計をそのまま引き継いだ由緒ある建築物です。

2000年には現在のように増築され、快適な環境が用意されました。

蔵書は美術・工芸・デザイン関係の図書を中心に、現在11万冊を超えてます。国内外の貴重な画集や研究書の古典籍、江戸時代の和絵本も多くあります。

また美術の研究に供するため、東西の文学、歴史、哲学、宗教等の隣接分野の辞書、全集、研究書などの収書にも力を入れています。学生からの購入リクエストの制度もあります。OPACシステムで簡単に蔵書検索ができる本へのアクセスは容易ですし、全国の大学間での相互貸借も可能です。

本だけではありません。ビデオやDVDなどの視聴覚資料には、伝統工芸から現代美術まで、また古典映画などの収集にも力を入れています。これらは館内のAVブースで自由に閲覧ができます。

図書の活用法や専門書の探索など、分からぬことがありますたら遠慮なく質問してください。図書館職員や教員ライブラリアンが丁寧に助言してくれるでしょう。

もちろん、友人どうしで教え合うことも大切です。図書館はコミュニケーションのひろばです。

国際交流

世界を舞台に活躍する芸術家、デザイナー、研究者などの育成を目指し、海外作家講演会、海外作家招聘事業、大学間交流などの国際交流活動を行っています。

国際交流センター長 稲垣 健志 准教授（一般教育等）

海外作家講演会

海外のアーティスト、デザイナー、大学教員、研究者等による講演会です。
各分野の専門知識や最新の情報・動向を得る機会を提供しています。



大山エンリコイサム 氏



瀧口 範子 氏

大学間交流

ゲント王立美術アカデミー（ベルギー／ゲント）、ナンシー国立高等美術学校（フランス／ナンシー）、清華大学美術学院（中国／北京）、
大連工業大学（中国／大連）と交流協定を結び、学生・教職員の相互派遣などを行ってきました。今後も順次大学間交流を拡充していく
予定です。



ゲント王立美術アカデミー(ベルギー) ゲント視察 ゲントへの短期派遣留学 研究発表をするゲントからの留学生



ナンシー国立高等美術学校(フランス) ナンシー視察 ナンシー姉妹都市交換留学生 ナンシーとゲントからの留学生を交えた授業の様子



清華大学美術学院(中国) 授業に参加する清華からの留学生 蒋斌氏(清華)を囲んだ昼食会 短期派遣留学生帰国報告会



大連工業大学(中国) 国立台湾芸術大学との学術交流協定締結式 留学生を交えた授業

金沢美術工芸大学のキャンパス移転について



アクセス道路側から見た外観

金沢美術工芸大学は、1946年(昭和21年)、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立されました。

昭和30年には4年制大学として認可され、美術・工芸・デザインの各分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、これまでの間、多くの人間国宝や第一線で活躍するクリエイターを輩出し、国内外の文化・芸術の発展を支えてきています。

しかしながら、大学の活動拠点である現キャンパスは、築40年を経過したことによる老朽化が著しく、また、建物の耐震性や制作スペースの不足等多くの課題があることから、金沢大学工学部跡地へのキャンパス移転が決定しました。

主な経過

平成26年2月	金沢市が「世界の交流拠点都市金沢重点戦略計画」において、金沢美術工芸大学の移転整備を重点施策として位置づけ
平成28年2月	金沢美術工芸大学において、「金沢美術工芸大学新キャンパス構想」を策定し、金沢市長へ報告書を提出
平成29年2月	金沢美術工芸大学移転整備基本構想検討懇話会の報告をもとに、金沢市が「金沢美術工芸大学移転整備基本構想」を策定
平成30年2月	金沢美術工芸大学移転整備基本計画検討懇話会の報告をもとに、金沢市が「金沢美術工芸大学移転整備基本計画」を策定
平成30年9月	金沢美術工芸大学建設工事設計者選定委員会において、「SALHAUS(サルハウス)・カワグチティ建築計画設計共同企業体」を最適設計者として決定
令和元年9月	金沢市が、「金沢美術工芸大学建設工事基本設計」をとりまとめ

今後の予定

令和元年度～令和2年度	実施設計
令和2年度～令和4年度	建設工事
令和5年度	新キャンパス移転予定



アートプロムナード:大学の活動を広く発信する場となるキャンパスのメインストリート



創作の庭:共通工房に囲まれ、学生が集中し自由に創作できるコミュニティ空間



アートコモンズ:キャンパス全体に分散して配置された展示や合評のためのスペース



辰巳用水側から見た外観

学生生活

美大祭

毎年11月の初旬に、自治会(美大祭実行委員会)の主催で美大祭を開催しています。学生の作品展示、講演会、仮装パレード、模擬店など多彩な催しです。学生・教職員相互の親睦はもとより、市民との交流を深めるお祭りです。美大生にとって、学生生活のなかで一番思い出に残る行事でもあり、同時に大学所蔵品の展示など、美大を市民に公開する絶好の機会でもあります。



クラブ活動

本学には、体育系22、文化系23のクラブがあり、多くの学生が活動に参加しています。他大学におけるクラブ活動とは少し様相を異にし、のびのびとスポーツを楽しむ、同じ趣味の仲間が集うといったクラブが多く学年、専攻を越えた友好の場となっています。



学外研修

各専攻実習授業の一環として、年に4日～9日間の研修が実施されています。各専攻の研究内容、社会情勢、学生事情等にあわせて計画・研修地が選ばれ、国内外の古美術研修、郊外写生授業、企業実習体験、アトリエ訪問などをています。学生にとっては数少ない宿泊を伴う研修で、近年は海外研修を実施する専攻もあり、学生が楽しみにしている授業のひとつです（旅行費用等は入学時に納入）。



生活支援

キャンパスライフに密着したさまざまな支援体制が整えられています。食堂や喫茶コーナーはもちろん、画材を調達できる売店が用意されているほか、体の健康維持のための保健室やこころの相談を気軽にできる学生相談室が開設されています。また経済的な安定には、日本学生支援機構をはじめ各種の奨学金制度を利用することができます。事務局の窓口にはアルバイト情報や下宿情報が用意され、就職支援も行っております。また、個展やグループ展を開きたいという意欲のある学生には、展覧会補助制度があり、留学を志す学生には、ヨーロッパやアジアの美術学校への派遣制度もあります。

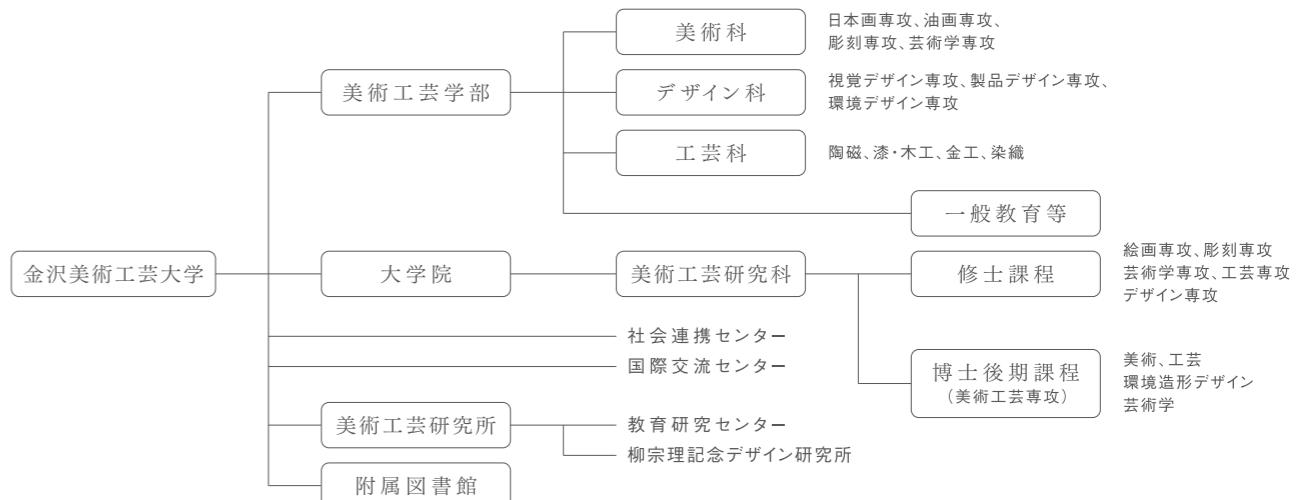


五芸祭

金沢美大・東京藝大・愛知芸大・京都芸大・沖縄芸大の学生及び教職員が、毎年5月下旬当番大学に集い、体育行事を中心として互いの芸術文化活動の交流をはかる伝統的な催しで、既に65回の歴史を有します。スポーツクラブは順位を競い、全種目の総合得点で五芸祭優勝校が決まります。音楽部門を有する他大学を主体に、合同演奏会なども催されます。何よりも学生・教員にとって交流・情報交換ができる貴重な機会となっています。



大学の組織



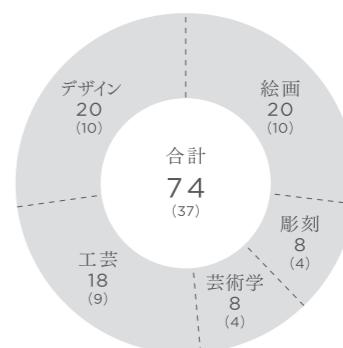
学生数

学部[定員]

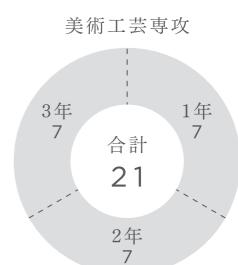


※()内は各学年の定員数です。

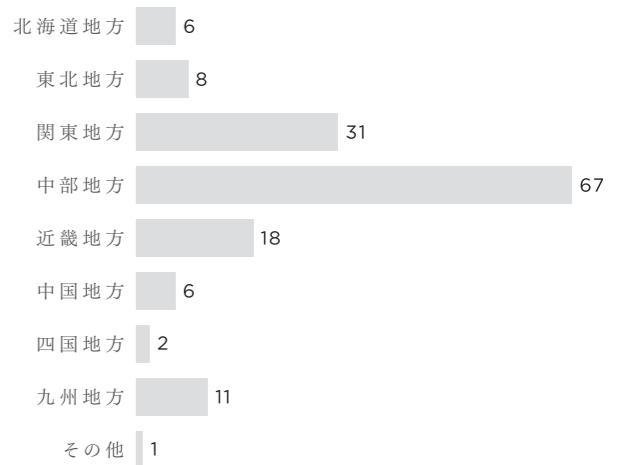
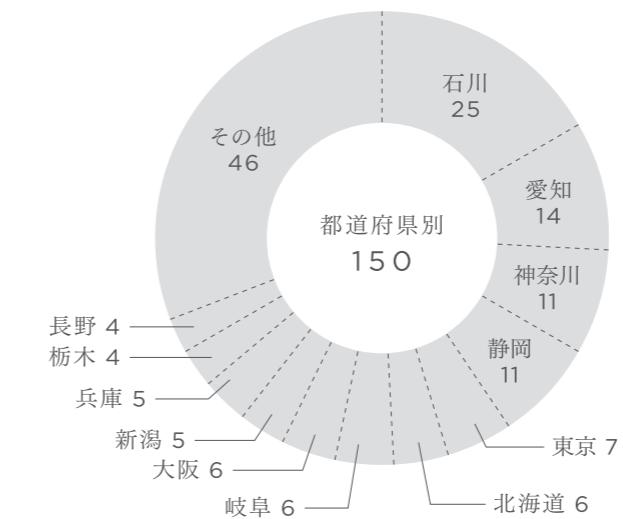
修士課程[定員]



博士後期課程[定員]



出身校所在地別入学者数(2020)



入学試験結果

2020								
一般選抜			推薦入試			入学者		
募集人員	志願者	倍率	募集人員	志願者	倍率			
美術科	日本画	15	100	6.7	-	-	-	15
	油画	25	144	5.8	-	-	-	25
	彫刻	15	70	4.7	-	-	-	15
	芸術学	10	43	4.3	5	10	2.0	15
デザイン科	視覚デザイン	18	213	11.8	2	39	19.5	20
	製品デザイン	18	73	4.1	2	13	6.5	20
	環境デザイン	18	75	4.2	2	17	8.5	20
	工芸科	18	103	5.7	2	13	6.5	20
合計		137	821	6.0	13	92	7.1	150
2019								
一般選抜			推薦入試			入学者		
募集人員	志願者	倍率	募集人員	志願者	倍率			
15	124	8.3	-	-	-	15		
25	139	5.6	-	-	-	25		
15	78	5.2	-	-	-	15		
10	37	3.7	5	13	2.6	15		
18	226	12.6	2	38	19.0	20		
18	73	4.1	2	22	11.0	22		
18	71	3.9	2	13	6.5	20		
18	139	7.7	2	22	11.0	21		
137	887	6.5	13	108	8.3	153		

奨学金

2019年度(令和元年度)

奨学生の名称	給付・貸与の別	支給対象 学生数	対象	1件あたりの 年間支給額
日本学生支援機構奨学生(第一種)	貸与	136	学部	(平均) 543,882円
日本学生支援機構奨学生(第二種)	貸与	90	学部	(平均) 802,667円
日本学生支援機構奨学生(第一種)	貸与	30	大学院	(平均) 935,200円
日本学生支援機構奨学生(第二種)	貸与	2	大学院	(平均) 780,000円
日本学生支援機構奨学生	給付	9	学部	(平均) 346,667円
石川県育英資金	貸与	4	学部	528,000円
あしなが育英会大学奨学生	給貸併用	1	学部・大学院	840,000円
中村積善会奨学生	給貸併用	1	学部・大学院	320,000円
大森昌三記念財団奨学生	給付	1	学部・大学院	360,000円
神山財団芸術支援プログラム	給付	6	大学院	200,000円
国際瀧富士美術賞	給付	1	学部	300,000円
佐藤国際文化育英財団奨学生	給付	3	学部・大学院	360,000円
電通育英会大学奨学生	給付	3	学部	(平均) 780,000円
戸部真紀財団奨学生	給付	2	学部・大学院	600,000円
日本文化藝術奨学生	給付	1	大学院	500,000円

※令和2年3月現在

学費

入学金

金沢市内居住者(入学手続時に納入)	282,000円
上記以外の者(入学手続時に納入)	423,000円

その他の経費

1. 成美会費[後援会費](入学手続後に納入)	60,000円	2. 学生自治会費(入学手続後に納入)	10,000円
-------------------------	---------	---------------------	---------

3. 研修旅行費(入学手続後に納入)

日本画専攻	100,000円	4. 専攻実習費内訳(入学手続時に支払う分)	
油画専攻	200,000円	日本画専攻	110,000円
彫刻専攻	100,000円	油画専攻	90,000円
芸術学専攻	100,000円	彫刻専攻	250,000円
デザイン科(各専攻共通)	120,000円	芸術学専攻	80,000円
工芸科	130,000円	デザイン科(各専攻共通)	100,000円

※入学金・授業料等は改定される場合があります。

※在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※納入した入学金・授業料は返還しません。

※高等教育の修学支援制度の対象となっています。

授業料

年間	535,800円
前期分(4月30日までに納入)	267,900円
後期分(10月31日までに納入)	267,900円

4. 専攻実習費内訳(入学手続時に支払う分)

日本画専攻	110,000円
油画専攻	90,000円
彫刻専攻	250,000円
芸術学専攻	80,000円
デザイン科(各専攻共通)	100,000円

外国人留学生奨学生

2019年度(令和元年度)

奨学生の名称	給付・貸与の別	支給対象 学生数	対象	1件あたりの 年間支給額
石川県私費外国人留学生奨学生 (入学から1年未満)	給付	1	大学院	240,000円
石川県私費外国人留学生奨学生 (県内就職希望)	給付	1	大学院	360,000円
文部科学省学習奨励費	給付	1	大学院	576,000円
ロータリー米山記念奨学生	給付	2	大学院	1,680,000円

※令和2年3月現在

生活費のめやす

ひとり暮らしの場合(1ヶ月当たりの金額)

家賃(共益費を含む)	25,000円～60,000円	[平均37,000円]
食費	10,000円～53,000円	[平均27,000円]
部屋の広さ	6畳～15畳	[平均9畳]
光熱水費(ガス・水道・下水道・電気)	4,000円～15,000円	[平均9,000円]

大学周辺には多くの学生向け住宅等があり、徒歩や自転車で10分程度の通学範囲です。

近所に友達が住んでいるという環境で、学生同士の交流が活発なため、女子学生にも安心です。

また、一軒家をシェアして借りる学生もあり、住み方は様々で、通信費や光熱費込みとなっている住宅等もあります。

なお、入学手続きの際に、本学に不動産業者の出張所が設置されますので、そこで住居を決められる方もいます。

教員一覧

客員教授

仁志出 龍司(本学名誉教授)
能島 滉江(作家)
土屋 禮一(日本画)
今井 信吾(油画)
佐藤 一郎(油画)
細田 守(油画)
岩間 弘(彫刻)
宮永 愛子(彫刻)
小林 順子(芸術学)
谷 晃(芸術学)
松崎 照明(芸術学)
横山 勝彦(芸術学)
内田 まほろ(視覚デザイン)
小林 章(視覚デザイン)
佐藤 章(視覚デザイン)
水口 克夫(視覚デザイン)
米林 宏昌(視覚デザイン)
伊藤 邦久(製品デザイン)
落合 陽一(製品デザイン)
小熊 誠次(製品デザイン)
坂井 晃(製品デザイン)
林 信行(製品デザイン)
益田 文和(製品デザイン)
柳 新一(製品デザイン)
David Tonge(製品デザイン)
新保 智子(環境デザイン)
須田 武憲(環境デザイン)
廣村 正彰(環境デザイン)
鷺田 めるろ(環境デザイン)
皆川 明(ファッションデザイン)
大角 幸枝(工芸)
金子 賢治(工芸)
唐澤 昌宏(工芸)
須藤 玲子(工芸)
橋本 真之(工芸)
前田 昭博(工芸)

日本画

教授
松崎 十朗
佐藤 俊介

准教授
荒木 恵信
石崎 誠和

非常勤講師

荒木 史(装潢師)
岩田 壮平(武藏野美術大学)
大島 宗翠(茶人)
岡村 桂三郎(多摩美術大学)
北澤 憲昭(美術評論家)
北田 克己(愛知県立芸術大学)
さわ ひらき(作家)
新恵 美佐子(作家)
中村 賢次(崇成大学)

准教授
浜田 周
山田 穀(作家)
米谷 清和(作家)

油画

教授
三浦 賢治(絵画)
大森 啓(絵画)
高橋 治希(絵画・立体・空間表現)

講師

非常勤講師
小清水 漢(京都市立芸術大学名誉教授)
林 一平(彫刻家)
渡辺 秀亮(石彫家)
本郷 芳哉(彫刻家)

芸術学

教授
神谷 佳男(絵画・版画)
保井 亜弓(西洋美術史)
菊池 裕子(工芸史・芸芸論)
水野 やさ(日本・東洋美術史)

講師

非常勤講師
五十嵐 嘉靖(本学名誉教授)
安達 博文(作家)
上田 恒夫(本学名誉教授)
榎本 千冬(竹工芸家)
笠井 麻衣子(作家)
片口 直樹(次城大学)
喜井 豊治(モザイク作家)
菊谷 達史(作家)
木村 康朗(京都造形芸術大学)
黒坂 圭太(武藏野美術大学)
幸福 輝(国立西洋美術館)
坂本 雅美(紙本修復家)
島 敦彦(金沢21世紀美術館)
佐々木 千尋(富山県立大学)
日原 広一(宮城大学)
平野 潤太郎(平野潤太郎デザイン研究所)
福井 崇人(京都造形大学客員教授)
藤岡 将史(電通クリエーティブX)
神子澤知弓(神子澤知弓デザイン事務所)
三澤 直加(グラグリッド)
山口 省一(mycolorsp)
吉川 豪(パナソニック)
吉川 義盛(フリーランス)
米村 浩(博報堂)

製品デザイン

教授
村中 稔(情報機器・インラクションデザイン)
浅野 隆(モビリティデザイン)
河崎 圭吾(家電デザイン)
安島 諭(公共用品デザイン)

視覚デザイン

教授
根来 貴成(家具・インテリア製品デザイン)
非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
品野 與四寛(AD PHOTO SHINANO)
日高 一樹(日高国際特許事務所)
永原 隆(DDS)
土井 宏二

彫刻

教授
工藤 俊之(広告)
寺井 剛敏(プランディング)
鈴木 康雄(映像)
准教授
坂野 徹(エディトリアル)

小倉 ひろみ(スタジオピーパ)

坂井 晃(NEC)
長田 典子(関西学院大学)
高橋 英行(テクノロジー・ジョイント)
詫摩 智朗(SONY)
丸山 幸伸(HITACHI)
秋田 純一(金沢大学)
入矢 真一(ソニー)
館田 千里(オータニアートスクール)

井出 裕紀(NEC)
吉川 豪(パナソニック)
稲垣 揚平(エイジデザイン)
鈴木 元(GEN SUZUKI STUDIO)

倉本 仁(JIN KURAMOTO STUDIO)
三澤 直加(グラグリッド)
福定 良佑(フクサダデザイン)

渡邊 恵太(明治大学)
北川 大輔(DRIGN FOR INDUSTRY)
上町 達也(雪花)

熊崎 純一(NEC)
助教
青木 千絵(漆造形)

環境デザイン

教授
角谷 修(空間デザイン)
鍔 隆弘(ランドスケープデザイン)
畠野 裕司(ディスプレイデザイン)
北村 賢介(プロダクトデザイン)

講師
西本 耕喜(建築デザイン)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

講師
日高 一樹(日高国際特許事務所)
限 研吾(隈研吾建築都市設計事務所)
北川 勝明(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

講師
日高 一樹(日高国際特許事務所)
上坂 達朗(東洋設計)
平野 潤太郎(平野潤太郎デザイン研究所)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

講師
日高 一樹(日高国際特許事務所)
上坂 達朗(東洋設計)
平野 潤太郎(平野潤太郎デザイン研究所)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

講師
日高 一樹(日高国際特許事務所)
上坂 達朗(東洋設計)
岸野 桃子(資生堂)

工芸

教授
畠山 耕治(鍛金)
田中 信行(漆造形)
山村 慎哉(漆芸)
山本 健史(陶造形)
入矢 真一(ソニー)
館田 千里(オータニアートスクール)

井出 裕紀(NEC)
吉川 豪(パナソニック)
稲垣 揚平(エイジデザイン)
鈴木 元(GEN SUZUKI STUDIO)

倉本 仁(JIN KURAMOTO STUDIO)
三澤 直加(グラグリッド)
福定 良佑(フクサダデザイン)

渡邊 恵太(明治大学)
北川 大輔(DRIGN FOR INDUSTRY)
上町 達也(雪花)

熊崎 純一(NEC)
助教
青木 千絵(漆造形)

環境デザイン

教授
武脇 潤(陶磁・上絵)
手島 敦(陶磁・釉薬)
竹内 智恵(陶磁・染付)
畠野 裕司(ディスプレイデザイン)
中田 雅巳(陶磁・クロコ)

講師
西本 耕喜(建築デザイン)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

講師
日高 一樹(日高国際特許事務所)
上坂 達朗(東洋設計)
平野 潤太郎(平野潤太郎デザイン研究所)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

講師
日高 一樹(日高国際特許事務所)
上坂 達朗(東洋設計)
平野 潤太郎(平野潤太郎デザイン研究所)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

講師
日高 一樹(日高国際特許事務所)
上坂 達朗(東洋設計)
平野 潤太郎(平野潤太郎デザイン研究所)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

講師
日高 一樹(日高国際特許事務所)
上坂 達朗(東洋設計)
岸野 桃子(資生堂)

一般教育等

教授
畠山 耕治(鍛金)
田中 信行(漆造形)
山村 慎哉(漆芸)
山本 健史(陶造形)
入矢 真一(ソニー)
館田 千里(オータニアートスクール)

井出 裕紀(NEC)
吉川 豪(パナソニック)
稲垣 揚平(エイジデザイン)
鈴木 元(GEN SUZUKI STUDIO)

倉本 仁(JIN KURAMOTO STUDIO)
三澤 直加(グラグリッド)
福定 良佑(フクサダデザイン)

渡邊 恵太(明治大学)
北川 大輔(DRIGN FOR INDUSTRY)
上町 達也(雪花)

熊崎 純一(NEC)
助教
青木 千絵(漆造形)

環境デザイン

教授
武脇 潤(陶磁・上絵)
手島 敦(陶磁・釉薬)
竹内 智恵(陶磁・染付)
畠野 裕司(ディスプレイデザイン)
中田 雅巳(陶磁・クロコ)

講師
西本 耕喜(建築デザイン)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

講師
日高 一樹(日高国際特許事務所)
上坂 達朗(東洋設計)
平野 潤太郎(平野潤太郎デザイン研究所)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

講師
日高 一樹(日高国際特許事務所)
上坂 達朗(東洋設計)
平野 潤太郎(平野潤太郎デザイン研究所)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

講師
日高 一樹(日高国際特許事務所)
上坂 達朗(東洋設計)
平野 潤太郎(平野潤太郎デザイン研究所)

非常勤講師
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)

五十嵐 嘉靖(美術工芸特論)

上田 恒夫(美術工芸特論)
クワクボリョウタ(メディアアート)
青山 征彦(造形心理学・環境心理学)
竹内 佳奈(絵画I(I版画))
早川 璃(作家)
渡部 匡人(工芸I(Iガラス))
藤野 征一郎(工芸II(I木工))
田 聰美(工芸I(Iガラス))
弘田 朋実(工芸IV(染織IV))
平塚 聖子
(デザインII(ファッショニ))
(ファッショニデザインベーシック A・B)
(造形表現工房IV(素材・技術/ファッショニデザイン演習 I・II))
(造形表現工房IV(素材・技術/現代美術ミクストメディア))

大学院／修士課程 ファッショニデザインコース

大学院専任准教授

村山 祐子(デザイン・構成)

非常勤講師

平塚 聖子
(モデリング・メーキング)

尾原 蓉子
(ウイメンズ・エンパワメント・イン・ファッショニ会長)
藤原 大(クリエイティブディレクター)
相澤 陽介(Wマウンテンニアリングデザイナー)
今村 祐馬(マーチャンダイザー)
川本 敦久(卯辰山工芸工房館長)
江木 良彦(きものスタイル)
平木 三重子(染織家)
津田 外已男(テキスタイル商品開発アバイザー)

美術工芸研究所

准教授

よしだ ぎょうこ(日本画)

基礎科目

非常勤講師
尾崎 紀之(美術解剖学)
宮原 康展(映像メディア)
松原 茂(日本美術史II)
森 仁史(日本美術史II)
平岡 三保子(東洋美術史II)
山本 緑(東洋美術史II)
木下 亮(西洋美術史II)
鰐江 秀樹(西洋美術史II)
ジヨルジオ・サラーニ(工芸史II)
リリアナ・グランジャ・モライス(工芸史II)
ヘレナ・チャブコヴァー(工芸史II)

活躍する卒業生

日本画

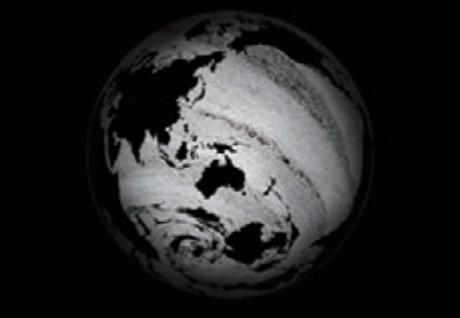


北川 由希恵 2014年修了
「時を刻む蘇鉄」 2019年改組新第6回日展特選



帰山 正樹 2013年修了
「地を爬う虫」 第47回 日春展 奨励賞

油画



山本 基 1995年卒業
塩によるインスタレーション作品
OFXのCM(オーストラリア企業とのコラボレーション)



東村 アキコ 1998年卒業
「かくかくしかじか」 第19回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞
「東京タラレバ娘」 第6回ananマンガ大賞

彫刻



伊藤 幸久 2013年修了
口付けたくないけどコップ使うのはいや



寄田 茜 2015年修了

芸術学



若山 満大 2013年卒業
アーツ前橋 学芸員



立浪 佐和子 2005年修了
横須賀美術館 学芸員

視覚デザイン



大黒 大悟 2003年卒業 The Art of Bloom
2003年日本デザインセンター入社。2011年大黒デザイン研究室設立。
2018年から拠点をLAIに移す。アート、ライフスタイル、テクノロジーに
フォーカスし、新たな価値創出のための活動を行なっている。



平井 秀次 2015年卒業
サカナクション"SAKANAQUARIUM 2019"演出映像
dep Management所属。グラフィックデザインを軸にモーショングラフィックス、ライブ映像
演出等オンラインメディア制作に従事。映像作家100人2018,2019退出。

製品デザイン



兼田 尚枝 1998年卒業
ステレオヘッドセット WI-1000XM2
(ソニー株)

環境デザイン

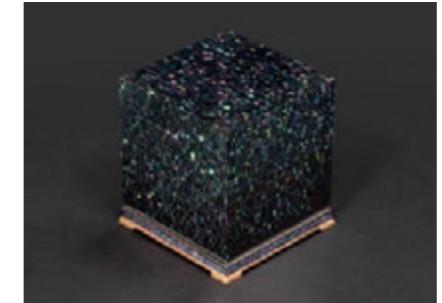


鈴永 泰士 2011年卒業
ショーウィンドウ BRIDALFAIR2016 Christmas
株式会社ミキモト



碓氷 修也 2015年卒業
レクラス バスルーム
パナソニック(株)

工芸



池田 晃将 2016年修了
「電光十進玉箱」
電光装飾-Cyber Effect-池田晃将 漆芸展(日本橋高島屋)



久米 圭子 2011年修了
「wonders080」
第8回清州国際工芸公募展 特選

ファッション デザインコース



大脇 幹裕 2011年修了
OWAKIMIKIHIRO 2017SS
BRAND CONCEPT「既成概念からの発見」



久保木 啓太 2016年修了
THE株「THE Sweat Zip up Hoodie」パターン作成
丸和織維工業株 商品企画室

アクセス



大学への交通

電車	金沢駅下車	タクシー	金沢駅から約20分
バス	金沢駅東口(兼六園口)バスターミナル7番のりば ⑪東部車庫行、⑪金沢学院大学行、 ⑫湯涌温泉行、⑫北陸大学薬学部行、 ⑫北陸大学太陽が丘行、⑯駒帰行(乗車約25分)	自動車	北陸自動車道 金沢森本IC から約15分 金沢西IC から約25分
	金沢駅東口(兼六園口)バスターミナル6番のりば ⑬湯谷原行、⑭田上住宅行(乗車約25分)	航空機	小松空港から
	金沢駅西口(金沢港口)バスターミナル5番のりば ⑩東部車庫行、⑩金沢学院大学行、 ⑬湯谷原行(乗車約25分)	[バス]	リムジンバス(乗車約40分) 金沢駅下車 (乗り換え、東口、西口から電車の場合に同じ)
	いずれのバスも「小立野(こだつの)」で下車してください。(徒歩約8分)		

資料請求方法

インターネットで
請求する 本学ホームページにアクセス <https://www.kanazawa-bidai.ac.jp>
右の2つのいずれかよりご請求ください。



※請求方法は移動後のページ内の
指示に従ってください。

テレメールで
請求する 24時間受付・自動音声応答電話
TEL 050-8601-0101

インターネットなら
<https://telemail.jp>

モバッちょで PC・携帯電話



資料名	資料請求番号
一般入試募集要項	583050
推薦入試募集要項	583060
入学者選抜要項	583070

*QRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号は不要です。



※ フィーチャーフォン払い、スマートフォン払い、
クレジットカード決済、コンビニ後払いからお
支払い方法を選択できます。

請求方法についてのお問い合わせ先
大学情報センター株式会社 モバッちゅカスタマーセンター

金沢美術工芸大学 KANAZAWA COLLEGE OF ART

公立大学法人 金沢美術工芸大学
〒920-8656 石川県金沢市小立野5丁目11番1号
TEL 076-262-3531 FAX 076-262-6594

